# 学なではか

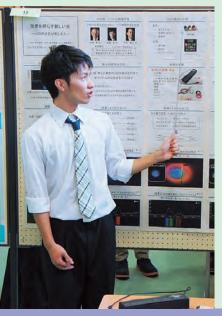
















専攻科生44名の皆様の福島高専への御入学をお慶び 申し上げます。誠におめでとうございます。

また、御列席の保護者の皆様、お子様の御入学を 心からお祝い申し上げます。

寒かった冬が過ぎ、春の暖かい日差しや風を感じ る季節になりました。本校、構内の桜の木も、春を 待ちかねるように開花し始めました。その中で、本 日、多数の新入学生諸君を福島高専にお迎えするこ とを、教職員、在校生一同、大変喜ばしく存じてお ります。

皆さんが入学した福島高専は、昭和37年、国立工 業高等専門学校の第一期校として、他の11の高専と 共に創立されました。本日、入学した皆さんは本校 への第54回目の入学生となります。また、平成16年 に、すべての国立高専が一つの独立行政法人「国立 高等専門学校機構」として法人化され、今年で12年 になります。現在、福島高専を含む51の国立高専が、 55のキャンパスで運営されています。この間、本校 から、およそ7,500名の創造性と実践性を併せ持つ 卒業生・修了生が巣立ち、様々な産業分野で活躍し ています。本日、入学した諸君も、地域の震災から の復興と新しい日本の創生のために、先輩たちに負 けずに活躍が出来るよう、本校でしっかりと勉学を 積み重ねるとともに、人間力を育成してください。

福島高専では、皆さんが勉強するにあたり、教育 理念、学習・教育目標、養成する人材像、卒業時に 身につけるべき能力などをきめ細かく定めていま す。

本校の教育理念の第一は、「広く豊かな教養と人 間力の育成」です。本日、入学した皆さんの多く は、将来、我が国の様々な分野で活躍することとな りますが、我が国や地域の発展にどのように役立つ かを考えるためには、最初に、幅広い教養と倫理観 を身につけることが大切です。さらに、人生におけ 要です。これが、本校の教育理念の第一です。

教育理念の第二は、「しっかりした基礎力に基づ く創造性と実践性の育成」です。卒業後、幅広い分 野で活躍できる創造的、実践的な人間となるために は、基礎知識に裏打ちされた柔軟な発想や企画力を 保有する人材となる必要があります。現場、現物、 現実を踏まえて、総合的な判断の下に、複合的に絡 み合う課題の解決や、社会のニーズに応える能力を 育成することが肝要です。皆さんには、創造性と実 践性を兼ね備え、新たな産業を起こしうる「イノベー ション人材」に育ってもらいたいと思っています。 これが、教育理念の第二です。

教育理念の第三は、「国際性とコミュニケーショ ン能力の育成」です。グローバル化に伴う国際競争 の激化に伴い、我が国を取り巻く状況は激変してき ています。また、世界における我が国の状況や立場 も、新興諸国の台頭により衰退の一途をたどってい るとの指摘もあります。このような背景を踏まえ、 皆さんには英語力を向上させることは言うまでもな く、英語で自分の意見を言い、異なった環境に住む 相手の考え方を理解した上で、その相手とディベー トも出来る能力を育成してもらいたいと思います。 今後、皆さんが、世界で活躍するためには、この素 質を育成することが重要です。これが、教育理念の 第三です。

このような教育理念の下に、6項目の学習・教育 目標を定め、さらに、個々の目標の具体的な項目を 掲げていますので、担当の先生などから詳しく説明 を聞いてください。

さて、これからの5年間、皆さんは次の4つの点 を念頭において勉強してください。

まず、第一に、学校で定められた規則・規律を守 り、皆が学校で快適に生活出来るように努力してく ださい。

第二に、授業で教えてもらうのではなく、自ら疑







問を持ち、自ら調べ、わからないところを授業で質問して確認する姿勢を保ってください。皆さんは、目的を持って、この福島高専に入学してきたはずです。社会に出て専門分野で活躍したい、または、大学や大学院に進学して、さらに専門分野を磨きあげたいなどの目的を持っているはずです。その目的に向かって、自ら学習する姿勢を保ってください。皆さんは、中学校では、受動的に授業に出てさえいれば、その授業について行けたかと思います。しかし、高専では、自宅に戻ってから予習や復習を行わない限り、勉強についていくことは困難です。勉学の動機を失わずに、目標を決めて能動的に勉強してください。

第三に、課外活動を楽しんでください。文化部やスポーツ部に所属し、集団や組織での活動能力やコミュニケーション能力を身につけてください。

第四に、何でも語り合える友人を作ってください。 高専在学中の友人やクラスメート、クラブ活動の仲間は、一生の友人になりますし、これらの友人によって皆さんの人間力も育くまれます。

本日入学した皆さんのために、福島高専は、卒業後の様々な進路を提供しています。5年間の課程を終えて、準学士の称号をもって就職することも出来ますし、本校の専攻科へ進み、大学卒と同じ学士の学位を得ることも出来ます。また、大学の3年生への編入学への道や、高専卒業生のための大学である技術科学大学へ進学して、修士または博士までの工学一貫教育を受ける道もあります。今から、保護者と相談して自分が進む道を見据えながら、日々、健康に気を付けて、夢と希望を持って勉学に励んでください。

次に、専攻科への入学生諸君。諸君は、本科5年間で修得したことを基礎に、さらに高度な基礎科目と専門科目を学ぶことになります。専攻科2年の課程を終え、学位審査に合格すると、大学評価・学位授与機構から大学卒業と同じ学士の学位を得ること

が可能です。

東日本大震災から早くも4年が過ぎましたが、福島高専では、震災や津波からの街の復興、並びに、福島県が目指す原子力依存からの脱却と再生可能エネルギーによる産業振興の支援のために、再生可能エネルギー、原子力安全及び減災工学の3分野で、教育・研究を行うべく、専攻科に復興人材育成特別プログラムを設けています。

また、この4月から、工学系の専攻科を改組しました。従来の工学系二専攻を、産業技術システム工学専攻の一専攻に統合し、その下に、生産・情報システム工学コース、エネルギーシステム工学コース、化学・バイオ工学コース及び社会環境システム工学コースの4つのコースを設置しました。この改組は、世界が注目する福島浜通りの再生を目指す「福島・国際研究産業都市構想」、いわゆる「イノベーション・コースト構想」を具体化する際に必要となる、福島第一原子力発電所の廃炉や、福島県が目指すロボット開発、再生エネルギー開発などを支える人材を育成することが、その大きな狙いの一つとなっています。

また、グローバル化の時代にあって、国際感覚を身に着けることは必須です。自らの英語力を向上させ、是非とも海外インターンシップなどに挑戦してください。さらに、最近の産業分野では、工業技術の大型化や高度化によって、より高度な知識や技術が必要とされています。これらの様々な観点から将来の自分を考えて、学習計画をたててください。専攻科生として十分な知識と教養を身につけることができるよう、また、後輩の良き手本となるように日頃から勉学に励んでください。

最後に、新入学生諸君全員には、日々健康に気を付けながら、勉学や人間形成に励み、本校を巣立つまでに大きく成長して、社会に、大学に、大学院に進んでいけるよう祈念して式辞といたします。







# 三主事・専攻科長あいさつ



# 高専の変革期こそ ま本が重要

教務主事 大 槻 īF

今年度から教務主事を拝命しま した電気工学科の大槻です。よろ しくお願い致します。

現在、高専を取り巻く状況が大

きく変わろうとしております。

職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化(専門学校の 大学化)の動きがあり、また高専の制度見直しも議論されて います。教育内容もアクティブラーニング(学生が自ら学ぶ)、 PBL(問題解決型学習)等、従来はそれほど重視されなかっ た(それでも、高専では比較的多く取り入れていた)学習方 法が大きく取り入れられる方向に動いています。

このように社会状況が大きく変わりつつありますが、重要 なことは、基本をしっかり保つことだと考えています。基礎 学力を身につけ、自分の頭で考える勉強をしていれば社会が どう動こうとも大丈夫です。先日の集会でもお話しましたが 「試験前に覚えて試験が終わると忘れてしまう」のは、よい 頭脳を一番もったいなく使う方法だと思います。

学生諸君には、毎日の自学自習の習慣を身につけ、常に本 当の勉強をしていってほしいと思います。本当の勉強の支援 をして、基礎学力の充実、実践力、創造力の向上にむけて、 少しでもお役に立てるよう努力していきますので、今後とも よろしくお願い致します。



# 充実した学生生活を

学生主事

西 美津子

学生を取り巻く環境は、時代と 共に変化しています。家族が集ま りテレビを囲んだ時代から、今や 好きな場所で動画が見られ、SN

Sで友達とつながることも可能です。スマホや携帯といった情 報機器は、私達に便利さや安心を提供してくれる一方、高専に おいてもSNSに絡むトラブルや将来への影響が指摘されるよ うになってきました。

そうした中、ひたむきにスポーツに熱中する学生達に清々し た爽やかさを感じるのは、私だけでしょうか。今年の全国高専 体育大会で、男女共団体優勝を果した卓球を初め、種目別1位 を含む上位入賞の陸上競技、水泳、そして強豪を倒し3位となっ たサッカー等、活躍している学生達に心よりエールを送ります。 それは、また、選手を支える部活やクラスの仲間、先生方、家 族の皆様の努力の賜です。

スポーツばかりでなく、ロボコンや文化・研究活動等、学 生時代に一生懸命やったことは、将来の財産になると思いま す。とはいえ、変化に戸惑い、今はまだ好きなことの見つから ない学生達も、焦る必要はありません。 "Everything comes to those who wait. (待てば海路の日和あり)"学生達が、健康的 で充実した生活を送れるように、全力を尽くして行くつもりで す。よろしくお願いいたします。



# 自主・自律の育成

寮務主事 笠井 哲

寮務主事2年目を務めている笠 井です。東日本大震災から4年8 か月が経過しました。震災のため、 夏休み中に特別在寮をしていた5 年牛全員が、3月に卒業したので、

この夏から学校閉鎖期間を含め、お盆は完全閉寮としました。 閉寮前、特に暑い日が続きましたが、昨年の冬に全居室にエ アコンを設置できたので、寮生たちも快適に過ごせたのでは ないかと思います。

磐陽寮の東側は、市道に面しているので少し心配でした。 しかし、昨年度末に<防犯カメラ>を設置し、<作動中>と いう表示をしたので、部外者に対して抑止力になっていると 思います。これで、いっそう安全な寮になったと思います。

さて中村隆行校長が、今年も希望され5月7日(木)に、 視察を兼ね宿直をされました。さらに、9月29日(火)に、 寮生会役員の研修会にも、出席して下さいました。もちろん、 寮務委員会も寮生たちの声を聴き、物心両面で安全で快適な 寮の環境づくりを進めていきます。なお今後は、本校もメン バーとなった、第2ブロックの他高専の寮運営を見習い、寮 生たちの「自主・自律の育成」をすることで、通学生に対し ても良い影響を与えるようにしますので、よろしくお願い致 します。



# 新しい専攻科の スタートにあたって

専攻科長

 $\blacksquare$ 原 īF 光

今年の3月に専攻科10回生を送 り出すことができました。4月に入 学した1年生は本校専攻科の12回 生になります。専攻科も初めて改組

を行い、産業技術システム工学とビジネスコミュニケーション 学の2専攻5コース制がスタートしました。

専攻科生は、機械工学、電気電子工学、応用化学、土木工学、 経営学といったそれぞれの専攻の分野でその専門性を高めるこ とは必須ですが、実際にはそれらが融合・複合化したものに対 応できるセンスや能力が必要とされます。また、周囲と協力し て課題に対応する際のチームワークやコミュニケーション能力 も大切です。新しい専攻科は、コース制や復興人材育成特別プ ログラムなどを通して、これらの能力向上につなげて欲しいと 考えています。

準学士課程を卒業して専攻科に入学してくる学生は、慣れ親 しんだ環境で地域に支えられながら自らの能力を高めていこう と考えている人材だと思います。地域の発展にはこれらの若い 力が必要です。若くて優秀な人材が地域に定着してくれてこそ、 震災からの復興や地域の創生も進展できるのではないかと思い ます。本校の専攻科でしかできない教育プログラムの特徴を活 かして、人材育成に取組んでまいります。

# 各科の近況 [本 科]



# 一般教科の近況

一般教科長 鳥 居 孝 栄

4月当初は緊張していた1年生も、定期試験、高専大会、夏休みなど学校行事を経験するに つれて、次第に高専生活にも慣れてきたようです。中学校より授業内容は難しいので、きちん とした学習習慣を身に付け、問題を自己解決する能力を養ってほしいと思っています。

さて、教員の異動についてご報告いたします。昨年ご報告して以来、転出者はいませんでし たが、一方、この4月から、数学科に白坂繁先生、物理科に工藤康紀先生が赴任されました。白坂先生は、人事交流で鹿 児島高専から、工藤先生は、再雇用で、大分高専から、それぞれいらっしゃいました。お二人とも、前任校で主事を経験 されておりますので、その経験を福島高専でも生かして、学生指導に実力を発揮されることを期待しております。

一般教科の教員は、学生たちの学習の基礎的能力を養うとともに、人間性育成のためにも、学級担任指導、課外活動指 導などを、日々積極的に行っているところです。



# 機械工学科の近況

機械工学科長木下博

現在の機械工学科は、教員10名、更に、専攻科復興人材育成特別コースに所属する先生1名 にお手伝いを御願いして、11人体制で授業、卒業研究などを行っています。今年度の5年生は 37人のクラスですが、1/3が進学希望で、2/3が就職希望です。昨年度に比較して、就職 希望が少し多いようです。本年は、企業の採用試験開始が例年より遅く解禁になるような状況

でしたので、どのようになるか心配でしたが、ほぼ、例年と変わりなく、就職活動が進められたようです。9月末現在、 ほとんどの学生の就職が内定しており、進学の方もまだ決まっていない学生も居るようです。全員合格までもう一息とい ったところでしょうか。

9月26日(土)には、機械学会東北支部第51期秋季講演会が本学で開催されました。4会場を使い、一般講演の発表が 約60件、その他、特別講演も2件行われました。1年以上前より準備に取りかかり進めてまいりましたが、無事に終了し て一安心しているところです。



電気工学科の近況

電気工学科長齢の大い情報

今年4月、本学科助教の豊島 晋先生が、「高専・両技科大間人事交流」から戻られました。 交流先の明石高専・電気情報工学科での2年間では電気電子材料系の授業、卒業研究や課題研 究のほか、「モデルロケット講座」や「社会人向けシーケンス制御技術講座」などの地域活動 にも積極的に関わってこられました。本校に戻られて、早速、種々の地域連携教育の活動を積

極的に取組まれております。

さて、今年の5年生(39名)の進路希望は概ね進学50%、就職50%であります。10月中旬の時点で、進学希望者の殆ど が進学先を決定しており、本校専攻科が10名、長岡技大が4名、その他の国立大学が4名となっております。一方、就職 希望の学生にとっては、「2016年新卒採用者に対する採用スケジュールの変更」が例年と異なる点でしたが、一部企業を 除いて、その採用スケジュールは大きな変更ではなかったという印象です。就職内定先の例としては、NHK、キヤノン、 アルパイン、富士通、東京ガス、クレハ、日東紡など大手企業の内定も実現し、また石油・化学系、輸送系、メディカル 系企業への就職もありました。これからの後期は、前期に習得した技術と知識、経験を活かして、それぞれの学年におい て結実の時期であります。何人(なんぴと)も日々の志が己の路を拓くのではないでしょうか。

# 各科の近況 [本 科]



# 物質工学科の近況

物質工学科長 青 柳 克弘

今年度、天野仁司先生から学科長を引き継ぎました。7年前にも1度この職を経験しており、 今回が2度目になります。よろしくお願いいたします。まず、教員の異動ですが、昨年度1年 間、教員交流制度により小山高専に行っておられた羽切正英先生が戻ってこられました。教育・ 研究両面で大きな成果が得られたと聞いており、物質工学科のために役立てていただきたいと 思っています。また、梅澤洋史先生がカナダのキングストン市にあるクイーンズ大学に4月か ら1年間の予定で留学しております。ここ数年、学生主事補や学級担任として多くの学生指導 に関する実績を残しましたが、これを機会に、研究面での実績も伸ばしていただきたいと思っ

ています。さらに、平成25年度の羽切先生に引き続き、押手茂克先生も平成26年度の国立高等専門学校教員顕彰(若手部 門優秀賞)を受賞しました。物質工学科の教育レベルの高さを証明しており、喜ばしい限りです。

今年度の5年生36名は、20名が進学、16名が就職希望です。異分野の大学等に進学する2名を除いて全員の編入学先が 決定しました。3名が難関である東京工業大学に合格したことは特筆すべきことです。また、就職も、化学・製薬メーカー 等を中心に全員が内定をいただきました。

もうすぐ後期が始まりますが、物質工学科では、時代の変化に即応できる、幅広い知識をもった人材の育成に12名の教 員一同取り組んでまいります。



# 建設環境工学科の近況

建設環境工学科長 緑 川

昨年度に引き続き学科長を拝命しております。よろしくお願いいたします。まず、建設環境 工学科の教員団についての近況をご報告いたします。昭和53年3月に赴任された根岸嘉和先生 が平成27年3月を持ちまして定年退職となりました。根岸先生は株式会社長大橋設計センター (現株式会社長大) 勤務を得て福島高専に赴任され、鋼構造工学をご専門にされていました。 授業では構造力学、鋼構造工学、構造解析学、鋼構造設計演習等の主に力学系科目を担当され ていましたが、近年は高専デザコンの指導、中学生デザコンの企画・運営、小中学校への出前 授業等を積極的に展開される等PBL教育にも力を注いでおられました。引き続き今年度から

2年間、嘱託教授として建設環境工学科の運営にご尽力頂く予定です。

根岸先生の後任として、平成27年4月より加村晃良先生が東京電力株式会社勤務を得て本校に赴任されました。加村先 生は本校建設環境工学科の平成14年度卒業生です。担当される科目は構造力学関連科目になります。さらに、国立極地研 究所より金高義先生が赴任されました。国際的に活躍できる学生の育成が求められる中、金先生には一般英語に加え専門 英語について教授して頂きます。建設環境工学科はここ数年の間9人の教員体制でしたが、今年度から10人体制で授業を 行っております。

また学生の動向についてですが、相変わらず女子学生の人気が高く、今年の1年生は43名中14名が女子学生で、建設環 境工学科全体では209名中68名(約33%)が女子学生です。就職に関しては、今年度は企業の採用活動が見直され選考解 禁日が8月1日となったことから若干出足が遅かったものの、例年通り売り手市場が続いています。このため今年度の就 職と進学の割合は2:1になっており若干進学組が少なくなっています。

以上のように、学科全体としては順調ですがこれも学生が優秀であるおかげです。良い学科であるよう建設環境工学科 教員一同取り組んで参りますので、ご家庭におきましてもご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



# コミュニケーション情報学科の近況

コミュニケーション情報学科長 芥 川 一

本年9月より学科長を拝命しております。よろしくお願い申し上げます。まず、コミュニケー ション情報学科がビジネスコミュニケーション学科として改組することが、本年7月に文部科 学省から認められました。

コミュニケーション情報学科は平成6年に設立され、その間に600余名の卒業生を世に送り 出してきました。その卒業生はいわき市のみならず、全国、全世界で活躍しています。しかし、 平成23年の震災以降、社会が大きく変化しました。その時代に対応し、活躍できる人材育成を

図るために改組を行います。そのためビジネスコミュニケーション学科は3つの方向性を使命としています。

①ビジネスのグローバル化への対応 ②持続可能な社会への貢献 ③多様なキャリア開発の支援 これからも社会で活躍できる人材育成に尽力していきますので、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。 今年度卒業をむかえる33名の内、進学希望が22名、就職希望が11名となっています。進学希望者はこれからが編入試験 となります。就職希望者はほぼ内定しております。進学希望者の今後の奮闘を期待してやみません。

# 各科の近況 [専攻科]



# 産業技術システム工学専攻の近況

産業技術システム工学専攻長 原 田 正 光

専攻科に産業技術システム工学専攻がスタートしました。定員20名のところに35名の学生が 在籍しています。この専攻内の生産・情報システム工学コースとエネルギーシステム工学コー スにはそれぞれ準学士課程の機械工学科と電気工学科の出身学生が進学しており、コース内に 基礎となる専門分野の異なる学生が在籍しています。化学・バイオ工学コースへは物質工学科 から、社会環境システム工学コースには建設環境工学科からの卒業生が進学し、それぞれの専

門基礎のうえに高度な専門性を深めています。

ロボット技術、防災通信、再生可能エネルギー、原子力安全工学、放射線工学、減災まちづくり、等の分野で活躍でき る人材の輩出は本県の復興や発展にとっても重要です。本専攻でも復興人材育成特別プログラムを活用してもらい、これ らの分野を俯瞰できる人材として育って欲しいと思います。

来年度はすべてのコースで、特例適用認定方式で学位の申請を行うことができるよう、現在申請を行っているところで す。これは学校で一括して大学評価・学位授与機構に学位を申請する方式ですので、学生の負担も軽減され、その分じっ くりと研究活動に時間をかけることができるようになります。



# 機械・電気システム工学専攻、 生産・情報システム工学コースの近況

機械・電気システム工学専攻長、生産・情報システム工学コース長 😝 田

今年度の専攻科入学者からは、専攻科改組により、本科機械工学科卒業生の場合、産業技術 システム工学専攻の生産情報システム工学(PI)コースあるいはエネルギーシステム工学(ES) コースに進学するようになっています。今年度の本科機械工学科卒業生のうち、9名が専攻科 に進学し、その内訳はPIコースに4名、ESコースに5名です。私は、PIコース長を務めてい

ます。PIとESコースには、本科機械工学科と電気工学科卒業生が交わり、クラス内のシナジー効果が期待されています。 この夏休みには、専攻科1年生諸君は、国内外でのインターンシップ(企業および大学等)を活発に行っています。学校 教育だけでは経験できない良い機会を学生諸君が体験していることがインターンシップ報告書からうかがえます。

さて、私は、昨年度から引き続き機械・電気システム工学(ME)専攻の専攻長も務めています。ME専攻の学生数は12 名で、改組前の最後の学年となります。今年度からの就活は、新聞等で報道されていますように、文科省の提案により、 学生が就活にディスターブされず学業に取り組めるように、企業の採用面接開始が遅く設定されましたが、ME専攻では 特に混乱もなく、就活は好調です。地元企業を中心に多くの業界にわたり、東北電力、東京電力、古河電池、常磐共同火 力、クレハ、ふくしま市町村支援機構、日本原子力開発機構、アドヴィックスなどです。また、東北大学大学院進学希望 者2名は、推薦入試で合格しています。

以上のように、積極果敢な活動を展開しており、今後とも全力を挙げて精進してまいります。



# エネルギーシステム工学コースの近況

エネルギーシステムエ学コース長 鈴 木 晴 彦

平成27年度より、専攻科が改組となり工科系1専攻4コース制となりました。本科の機械工 学科と電気工学科を卒業した学生は、「生産・情報システム工学コース」、または「エネルギー システム工学コース」のどちらかに在籍することになります。この4月、「エネルギーシステ ム工学コース」に在籍する学生は12名で、その内訳は、機械工学科卒の学生が5名、電気工学 科卒の学生が7名です。本コースは、広義の機械系・電気系のエネルギー関連分野の実践的教

育・研究をおこない、特に「再生可能エネルギー」や「エネルギーの有効利用」など、これからの新エネルギー社会を担 うに必要な「クリエーティブな人材の育成」と共に、東北・福島の「復興を支える人材の育成」に全力で取組むものです。 さて、本コースから機械工学科卒の男子学生1名が9月から約2ヶ月半、フランスIUT(技術短期大学)のヴァラン シエンヌへ出かけています。また7月末には、電気工学科卒の男子学生1名が、ドイツ・アーヘンで開催されたリニアド ライブ国際会議に参加して、特別研究の成果を発表することができました。このように国際的な場に出ていけるのも専攻 科の魅力であり、強みでもあります。今後も多くの専攻科学生が自らの視野を広げ、グローバルな価値観を獲得するチャ ンスを与えていきたいと思います。

# 各科の近況「専攻科」



# 物質・環境システム工学専攻、化学・バイオ工学コースの近況

物質・環境システム工学専攻長  $\blacksquare$ 研 化学・バイオ工学コース長

今年も学生諸氏はそれぞれに努力してくれており、それぞれの近未来の途を決めつつある 状況です。リクルート活動の全国的なスケジュール変更の余波もあり、まだ全員ではありま せんが、早晩全員の結果が出揃うことでしょう。

多くのかたが御承知のとおり、高等専門学校専攻科の最大の眼目ともいえる学士取得の特 例適用認定制度が応用化学・土木工学分野で始動し、各部門でそれぞれにいろいろと課題に

対峙しているのが現状です。さまざまに見解がでるのは当然ですが、こんにち岐路に立つ高等教育学制を総体的にかんが みて、高等専門学校だけが退却的な方針をとることができないのは明らかです。私たちにとっては、現状論評よりもまず は努力・研鑽あるのみと胆に銘じております。

学生諸氏にまけず、年度末には「結果がだせた一年度だった」とふりかえれるような後半戦をかならず実現しなくては ならないと痛切に感じ、努力を誓うしだいです。



# 社会環境システム工学コースの近況

社会環境システム工学コース長 齊 弘

専攻科改組により、産業技術システム工学専攻の下に社会環境システム工学コースが開設 され、この4月よりスタートしました。これまでと同じく建設・環境系の教育・研究を展開 する中で、本専攻科の特徴である、共通科目や関連科目の履修を通して広く豊かな教養を身 につけるとともに、専門分野についてより深く学び、応用性や専門性を深めることのできる 教育課程となっています。

今年度の新入生6名は、すべて本校の建設環境工学科出身の学生ですが、他コースの38名 の学生とともに学び、楽しく交流しており、新たな気持ちで元気に活動しています。この夏のインターンシップでは、1 名がフランスでの海外研修に挑戦し、その他の学生も県内外のゼネコンやコンサル、市役所などでお世話になり、現場で の実習を通して、実践感覚や問題意識を養ってきており、今後のさらなる飛躍へとつなげていくことができるものと期待 しております。

大震災からの復興や東京オリンピック開催にむけて、建設・環境の分野に求められることはますます多様になってきま すが、継続して活躍することのできる広い視野と柔軟な発想を身につけた技術者となることができるよう、教育・研究を 展開していきます。



# ビジネスコミュニケーション学専攻、 ビジネスコミュニケーション学コースの近況

ビジネスコミュニケーション学専攻長 崇 Ш ビジネスコミュニケーション学コース長

平成27年度から専攻長を拝命いたしました。今年度は1年生が9名(男性2名、女子7名)、 2年生が2名(女子2名)在籍しています。

1年生で実施されるインターンシップでは、3名がフランスのIUT(技術短期大学)、2 名が北オーストラリアのタウンズビル、4名がいわき市内で研修をしています。高専では学べ ない海外での文化体験や、社会人としての経験を通じて成長することを期待しています。

2年生の進路は、今年度から選考解禁日が8月に繰り下がったことで若干の不安はありましたが、2名とも第一希望の 民間企業に内定をいただくことができています。

2年生は後期からは修了に向けてこれまで行ってきた特別研究をまとめて論文を執筆する時期になります。昨年度まで は修了時に学士の学位を取得するためには、独立行政法人大学評価・学位授与機構の学位認定試験を受けて合格する必要 がありましたが、同機構の特例適用専攻科の認定を受けましたので、今の2年生からは書類の提出のみで学士の学位を取 得できるようになりました。

専攻科は2年間という短い期間ではありますが、それぞれが修了後の進路目標を達成できるよう、教員一同全力で支援 していきたいと考えております。

本校では、4年生と専攻科1年生に、校外実習・実務研修などの科目を設定し、企業などの協 力を得て、インターンシップを実施しています。校外、実務の場に身を置くことで、技術者の役 割を認識すること、学校で習得している知識が実社会でどのように活用されているかをそれぞれ の学生が理解することを目的としています。

本校では、こうした経験を今後の学習に活かし、社会人として必要とされる知識などを卒業ま でに身につけるように、教育と指導を行っています。

#### 古河電池でのインターンシップを終えて 機械工学科4年 植松沙也加



私は5日間、古 河電池のアルカリ 電池部製造課でイ ンターンシップ生 として働かせてい ただいた。5日間 は本当にあっとい う間だったが、こ の短い期間に多く

の貴重な体験をし、様々なことを学んだ。

初日は作業時の安全確認についての指導をしていただ き、古河電池の安全に対する意識の高さを認識した。その 後、工場で車両用・航空機用など各電池の生産工程を見学 した。また、工場内での挨拶として、1日安全作業をする ようにという意味を込めた「ご安全に」というものがある ことを知り、インターンシップ中誰にでもこの挨拶をする よう心がけるようにした。

2日目と3日目は実習で、電池の心臓部を形成する群巻 き機構成器の機構を確認してから、新しい部品を使って実 際に構成器を組み立てた。その際、ドリルでテーパーピン を入れる穴をあけたり、治具を用いて部品の微調整をした

り、他にも多くの作業をした。これらの業務から、仕事を ただこなすだけではなく、その業務が何につながっている かを考えることで、行動の1つ1つに意義と責任を感じる ことができた。

4日目は製作した構成器を実際に機械に搭載した。搭載 後も構成器の微調整をし、いよいよ機械を動かすとなった ときとても緊張した。いざ機械を動かし、群巻きの検証を してみると、他の群巻き機構成器とほぼ同等の群を形成す ることができた。自分で製作した構成器が実際に稼働する 機械に組み込まれ、中から製品が問題なく出てくるところ を見たとき、とても感動し達成感であふれた。

最終日には、これまでの実習内容のまとめをプレゼン テーションにして発表し、多くの指摘をいただいた。

最後に5日間を振り返ると、普段学んでいる専門科目な

どの重要さはもちろん、 人とのコミュニケーショ ン、挨拶や安全への配慮、 他にも多くのことを学ぶ ことができ、自分自身の スキルアップにもつなが るよい経験となった。



#### 村田機械㈱でのインターンシップで体験したこと 機械工学科4年 會田 隆二



村田機械株式会社のイン ターンシップに参加してき ました。10日間の実習期間 の中で、学校の授業では得 られないものをたくさん経 験できました。

参加させて頂いた村田機

械では繊維機械、L&A、クリーンFA、工作機械、情報 機器の五つの事業を展開しています。

実習内容は工作物の製作を中心に置き、CADやシーケ ンス制御などの講習、事業所の見学、高専卒の社員との懇 談会などがありました。どれも報告したい内容なのですが、 今回は工作物の製作について報告します。

工作物の製作といっても、ただ単に作るだけではありま せん。構想の段階でちゃんと練られているか、期間内に完 成できそうかなど講師の方々にプレゼンを行います。また、 完成したら講師と社員の方々に成果発表をします。自分で 製作したものに会社目線からの評価をもらうことができま

す。ここで重要なのは、講師と社員の評価は違うというこ とです。講師の方々には構想の段階でプレゼンをしていた ので大体の全容は知っているのですが、今回は400を超え る社員の方々には初見です。ですので、見るポイントが全 くちがいます。見てもらう側のことを考えなければ、得ら れる評価も得ることはできないということです。

製作の過程で重要なことがありました。働いている人は 知っていることです。それは、「納期」です。学校で生活 している場合、納期が遅れたとしても自分の評価が下がる だけですが、会社では会社全体の評価につながります。ど んなに良いものを製作したとしても納期に間に合わなけれ ば、評価はもらえませんので、いかに「納期」が重要かが わかります。

今回のインターンシップ では期間内にミッションこ なすための判断力や決断力 を学び、社会で必要な心構え を得ることができました。

### インターンシップを経験して 電気工学科4年 赤津 利也

今回私は、MGCエレクトロテクノ株式会社で5日間の 研修をさせていただきました。

MGCエレクトロテクノ株式会社は、主に年々小型化・ 軽量化・高速化していくパソコン・携帯電話などの情報通 信機器に使用されている銅張積層板やそれに使用されてい るプリプレグというものを製造している会社で、この度は、 管理部・技術部・製造部・保全部・品質保証部の5つの部 でお世話になりました。

実習内容は、銅張積層板の作成や点検、品質の保全を主 に行いました。

1日目はMGCエレクトロテクノ工場内部や製品につい ての説明、安全衛生活動という製品を作成する際の安全・ 衛生面でのご指導をいただきました。

2日目は銅張積層板・プリプレグの説明を受け、福島高 専OBの方との交流をし、四層板の作成・寸法測定を行い



ました。OBとの交 流では働くことの厳 しさや楽しさを詳し く聞きました。四層 板の作成では四層板 を作るために必要な 銅箔やプリプレグの シートを重ね、それ をプレスし作成しま

した。四層板の寸法測定では、 寸法を測定する機械にセット し、プログラムを使い寸法を 測定しました。

3日目はサンプル点検・ユーティリティー設備点検を主 に行いました。サンプル点検はラインの途中で複数回行わ れており、最後には自分で点検を行いました。設備点検で は多くの設備を点検しましたが、自然にも配慮した設備が 多いことにとても関心しました。

4日目は多くの検査・解析を行いました。検査ではエッ チング検査・サンプリング、銅張積層板検査を行いました。 検査では銅張積層板検査に12個、プリプレグ検査には7 個の検査項目があり、私たちの知っているはんだを使用し た耐熱性検査なども行っており、他には熱膨張の検査、絶 縁抵抗の検査なども行いました。この多くの検査は、品質 を守るために1つ1つ精密に行われていました。

最終日には実習報告のプレゼンテーションを行いました。 今回のインターンシップを経験して、学校で学んでいる 事がどのように活用され、どのような場所で使われている のかをよく知ることができました。また電気以外の分野に も触れることができました。多種の分野が皆同じ意思を持 つことで、初めて素晴らしい製品が作り上げられる事を大 きく実感することができました。この経験を生かし、将来 を考えて生きたいと思います。

#### インターンシップで得たもの 電気工学科4年 高田 凛太郎

今回、私は株式会社日本コンピュータシステムにて、5 日間の実習をさせていただきました。

株式会社日本コンピュータシステムは、主にコンピュー タソフトウェアの設計・開発をしている企業で、時には取 引先の企業に赴き、その場でプログラムを構成することも あります。私はシステム部で「画像処理のプログラム」を テーマに実習をさせていただきました。

実習初日の午前中に、社内の案内と実習課題についての 簡単な説明を受け、午後には実習を開始しました。課題 の内容は「複数の方形が描かれた画像を読み込み、特定



の色の方形の みを抽出して 一枚の画像に する」という ものでした。 使用した環 境 はC++の OpenCVラ イブラリとい うもので、画 像処理に優れ たものだったので すが、全く知識の ない状態から始め たため進んではつ まずき、進んでは つまずきの連続で した。つまずくた びに分かるまで調 べたり、時には聞

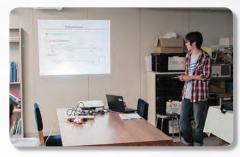


いたりして、徐々にですが理解し使えるようになっていき、 大きな達成感を得ることができました。

今回の実習において、私と同様の実習をした二人の友人 がいたのですが、それぞれの完成したプログラムを比べる と、画像の色の判別方法や画像の結合方法など所々異なる 処理の方法をとっている部分がありました。この時に処理 の結果は同じでも、無駄のないプログラムのほうがいいと 指摘を受け、学校の授業で教わったことを思い出しました。

この5日間の実習を通して、画像処理に関する知識を深 めることができました。また、社員さんと同じ空間で同じ 時間を過ごしながら作業をするという緊張感を味わうこと ができたのも、私にとって良い経験です。

### 研究の楽しさと難しさを感じた5日間 物質工学科4年 尾形 祐輔



私は8月下 旬の5日間、 東北大学の今 野研究室にお いてインター ンシップを行 いました。

主な実習内

容は、非球形な粒子であるシリカロッドの合成、また合成 条件を変えたときにおける形状の変化について考察するこ とです。

実習では、合成のフローチャートに基づいて、試薬を 加えながら時間をかけて合成し、それを電子顕微鏡TEM による観察を行い、ある試薬の量を変えたときのシリカ ロッドの形状の違いを観察し、その原因について考察しま した。

今回の実験の簡単な結果ですが、試薬の量を少なくし たときは棒(ロッド)状の結晶が、試薬の量を多くしたとき は球状の結晶ができました。

今度はその結果の原因について、考える作業をしまし た。アシスタントの学生の方々と意見をかわしあいながら、

結晶が牛成する原理や発表資料の作り方についても勉強し ました。そして最終日には、実習内容と研究成果について 発表しました。

先生方には学校の設備や機器についての説明を、学生 の方々には、研究室の説明や実験のサポートをしていただ きました。またお昼休みには、研究室のみなさんが昼食に 誘っていただき、普段の学校生活や編入の話、趣味の話な ど、様々な話をすることもできました。

最後に、5日間インターンシップを実施して、研究の 楽しさや研究から発表までの過程、発表をすること、すべ てにおいて勉強になりました。いろいろな意見に耳を傾け る、コミュニケーションをするということが大切であると 感じました。この経験は、卒業研究などに役立てていきた いです。お忙しい中受け入れて下さった今野研究室の皆様、 知識不足等でご迷惑をおかけしましたが、楽しく充実した 5日間になりました。ありがとうございました。





#### インターンシップで学んだこと 物質工学科4年 坂本 隆晃

私は、9月7日から9月18日の2週間、富士フイルムファ インケミカルズ株式会社平塚工場でインターンシップを行 いました。今回の実習では生産技術部工程技術科に配属さ れ、主な活動として、実機を模した小型の実験装置を使用 して製品の品質を落とさずに乾燥時間を短縮するための条 件検討を行いました。

製品をSEMで撮影したり実際に乾燥をしてその様子を 観察し、考察することで製品の乾燥時間を短縮することが できました。自分が行った実験の結果が実際に工場で動



いている機械に反映されると いうところに大きな達成感を 感じました。また、使ったこ とのない装置を使うことがで き、とても良い経験になりま した。

インターンシップ先では毎 朝ヒヤリハットの報告が行わ れており、社員の間で危険を 防止するのにとても役立って いると思いました。扱ってい る試薬や機械は危険なものが

多く、ちょっ としたミスが 重大な事故に つながってし まうため、こ のような安全 への配慮が重 要であると学 びました。ま た、実習内容 がまだ授業で



習っていないところでしたが社員の方にわかりやすく説明 していただき実際に実験を行うことで理解を深めることが できました。

今回の実習で、学校で学んでいることが実際の職場で非 常に重要なことであると再確認することができました。今 後の学生生活では今回の経験を活かしていきたいと思いま す。

最後になりましたが、お忙しい中インターンシップの受 け入れをしてくださった富士フイルムファインケミカルズ 平塚工場の皆様、本当にありがとうございました。

#### 清水建設でのインターンシップを通して 建設環境工学科4年 佐藤 翔太朗



私は夏季休業中、清水建設株式 会社でインターンシップをさせて いただきました。私は以前から、 将来は現場に立って建設プロジェ クトに携わりたいと思っていまし た。また、現場監督の仕事にも興 味があったため、実際に作業をし ているところを間近で見ることに より現場での仕事について学べる と考え、1週間の実習に参加しま

私が実習をしたのは、埠頭と石 炭などの貨物輸入拠点となる人工島を連結する橋梁を建設 している現場でした。実習中は現場の見学が多かったので すが、現場監督の方からたくさんの話を聞くことができま した。現場監督の方は、気温や天候、風速などを確認し、 作業前には危険予知活動やリスクアセスメントを行ってい ました。作業中にも、通路の確保や工具の整理を呼びかけ ていて、自分の作業だけでなく作業員全員のことを考え、 些細なことにも気を使う必要があると実感しました。ま た、作業中には作業員だけでは対処できない失敗や問題が

発生してしまうため、それを解決するのがゼネコンの仕事 と仰っていました。未熟な私には難しいことばかりでした が、高専の構造力学や施工法の授業などで学んだ知識や技 術が使われているところも多く、私自身も活用することが できたと思います。

今回のインターンシップを通して、実際の現場での作業 や、ゼネコンの仕事について理解を深めることができまし た。現場の雰囲気を味わうことができたのは、大変貴重な 経験になりました。また、建設業の仕事に就く人が減少

していて、人手が足りてい ないという話を聞かせてい ただいたので、インターン シップでの経験を活かし、 将来日本の建設業に貢献で きるよう今後の高専での勉 強にしっかり励みたいと思 います。おわりに、1週間 のインターンシップを受け 入れて下さった清水建設株 式会社の皆様、本当にあり がとうございました。





### 建設コンサルタントにおける震災復興業務 建設環境工学科4年 石川 桃子

私は今回、日本工営株式会社の都市・交通計画部にてイ ンターンシップに参加させていただきました。建設コンサ ルタント企業での実習を希望した理由としては、都市計画 に興味があったということと、コンサルタントはどのよう な業務内容を行っているのか、実際に目で見て体験したい なと思ったからです。東日本大震災の復興関連業務にも興 味があったため、都市・交通計画部の防災マネジメントグ ループという所に配属させていただきました。ここでは防 災・減災に向けた住民参画型業務や行政の各種計画づくり などを行っており、防災・減災を進め、地域防災力を向上 させる取組をしています。その中でも、今回私が体験した 業務は「富岡町帰町計画の基本構想の検討」というもので



東日本大震災に よって起こった福島

第一・第二原発事故 によって避難区域に 指定されてしまった 福島県富岡町にどの ような施設やサービ スを設置すれば人々 が富岡町に戻ってくるの かを検討するために、資 料の収集・整理と現地調 査を行いました。資料の 収集・整理では、富岡町 だけではなく楢葉町など の資料も用いて帰町判断



の考慮要件の整理を行いました。現地調査では、久ノ浜・ 楢葉町・富岡町に行き、どのような現状であるのかを実際 に目で見てきました。これらを踏まえて基本構想の検討を 行いましたが、検討をする際は、他の市町村における事例 を参考にしつつ、富岡町の地域特性を踏まえながら検討す ること、統計資料・基礎資料だけではなく、富岡町民の意 見を踏まえながら構想を練ること、実際に現地を見て、即 地的な情報を得ることが大切なことであると感じました。

建設コンサルタントの業務内容はデスクワークが多いイ メージがあったのですが、現地に行って調査を行うことも 多かったため、詳しい業務内容を知ることができて良かっ たです。今回の体験は自分の進路を考える上で、とても大 きなものとなりました。この経験を今後の学生生活に生か していきたいと思います。

# 子どもたちと過ごした5日間 コミュニケーション情報学科4年 大友 未来

私は9月7日から5日間、いわき市役所の子ども支援課 のインターンシップとして小川保育所に実習に行ってきま した。小川保育所には4クラスあり、1歳児と2歳児の混 合クラスで2日間、3歳児、4歳児、5歳児、それぞれの クラスで1日ずつ保育業務のお手伝いをさせていただきま した。

1日目の朝、私が部屋に入っていったとき、まだ早番の 時間だったため子どもたちは朝の子ども番組を観ていまし た。緊張していた私はテレビを観ている子どもたちの少し 後ろで見守っていたのですが、少しずつ子どもたちが私に 気づき、お祭りに行った話を教えてくれたり、膝の上に 座ってきてくれたりしました。子どもたちと遊ぶだけでな く、トイレに行かせたり、食事の手伝いをしたり、部屋の 掃除、子どもたちが昼寝をしている時間も先生たちの仕事



はたくさんありまし た。所長先生から聞 いていた通り、1つ 上のクラスになると 遊び方、手伝うこと、 話せる言葉も全く違 いました。インター

ンシップ中は ほとんど雨で 外に出ること が出来ません でしたが、最 終日は曇りで 運動会の練習 に参加しまし た。今まで見



てきた子どもたちがリレーで一生懸命に走っている姿を泣 きそうになりながら応援しました。

保育所でのインターンシップを通して、いろんなことを 感じました。学校では、学生として守られる立場にありま すが、保育所では実習生でも大人の1人として子どもたち を守る責任の重さを実感しました。保育士の方々は園児1 人ひとりのことをちゃんと見ているだけでなくお母さんた ちのことも気遣っていて、改めて尊敬しました。たくさん の子どもたちと過ごすことが出来たこの5日間は私にとっ て忘れられない経験になりました。親切に教えてくださっ た保育士の方々と一緒に遊んでくれた子どもたちにとても 感謝しています。

### 初めての農業インターンシップ コミュニケーション情報学科4年 秋山 洸一

私は山梨県にある株式会社佐藤農園という場所で、5 日間農業インターンシップを行ってきました。佐藤農園は 農業の6次産業ということで生産・加工製造・販売という 3つのプロセスを全て自分達で行っている会社です。その 中で私はこの全ての工程を短い時間の中で体験してきまし

まず農作物の栽培を行いました。私はぶどうの仲間の ピオーネという種類の作物を収穫したのですが、収穫の一 つ一つを手作業で丁寧に行っているためとても大変でし た。収穫中に腰が痛くなることもしばしばあり、非常に体 力のいる仕事なのだなと実感しました。

栽培が終わった後はピオーネをジャムにするための加 工を工場にて行いました。収穫したピオーネをジャムにで きる実とできない実に選別し、手作業で種をとってから

ジャムにしていきま す。機械を使う部分 はピオーネをペース ト状にする工程での み使用されるため、 そのほとんどが手作 業なことにとても驚





きました。

ここまでの工程を経て完成したジャムを東京の有楽町 で販売しました。商品として完成するまでの長い道のりが あったおかげで商品一つ一つに気持ちを込めてお客さんに 売ることができました。そのため商品を売り終わった後に は気持ちの良い達成感を感じることができました。

インターンシップを通して、普段何気なくスーパーに 売っている加工食品が長い工程を経てそこに存在している ことを自分の肌で感じることができ、食べ物のありがたみ を感じました。今回のインターンシップで得た経験や知識 を元に今後の生活をよりよいものにしていきたいなと思い ました。

### 1 か月のインターンシップを振り返って 生産・情報システム工学コース1年 中丸 智貴

私は会津若松市にある日本テキサス・インスツルメンツ・ セミコンダクター株式会社にて1か月間インターンシップ に参加しました。この会社は半導体IC製造の前工程とい う部分を行っています。半導体IC製造の流れは授業で習っ ていたので実際の現場ではどのように製造されているのか ということに興味があり、この会社のインターンシップに 参加しようと思いました。

会社内には様々な部署があるのですが、私はプロセス 技術部門と装置技術部門の2つの部署にお世話になりまし た。プロセス技術部門のエンジニアは半導体製造の量産管 理から新規工程開発まで幅広い業務に従事します。一方 で装置技術部門のエンジニアは生産装置の維持管理と生



産性向上、新規 装置の導入など 他の部門と連携 しながら高い生 産性と低コスト を実現するため 生産装置の観点 から半導体生産 ラインを管理し

ます。インターン シップでは実際に プロセスの改善業 務や装置のメンテ ナンスなどの体験 をさせていただき ました。これらの 業務を通して、幅



広い知識の必要性と効率、生産性改善に向けて一人ひとり が自発的に行動することの重要性を学ぶことができまし た。また、業務以外の部分では5S活動や円滑なコミュニ ケーションといった部分でのエンジニアとして企業で働く にあたっての重要なことを学ぶことが出来てよかったと思

1カ月のインターンシップを通して、様々な業務を体験 することでその企業の特色や裏側を知ることができまし た。これは1カ月という長い期間参加できたからこそ見え てきたものだと思います。また就職する際には飽きが来ず、 長く続けられるような企業に就職したいと思いました。こ の経験を生かして来年の就職活動に向けて努力していきた いと思います。

### フランス滞在の3週間 エネルギーシステム工学コース1年 川田 雄大

フランスIUT派遣により、ヴァラシエンヌへと留学 してから約3週間が経過しました。私は現在、ヴァラ シエンヌキャンパスの機械学部GMP(Genie Mecanique Productique)でプロジェクトを実施するための知識を養っ

ています。主にやっていることはCAD を使った設計で、使用しているソフトは 福島高専でも使ったことのあるCADソ フトでした。しかし表記がすべて英語も しくはフランス語のため、一つ一つの作 業に時間が掛かってしまいます。そのた め、日々英語の勉強に励んでいます。

人間関係の方は順調で、フランス人の 友人が部屋で開いたパーティーに招待 していただきました。そこではゲームを したり、フランス語や日本語を教え合っ たりして、楽しい時間を過ごすことがで

フランスに来た当初は早く日本に帰 りたいと思っていましたが、こちらで生 活している内にフランスでの生活が楽 しくなってきました。帰国まであと9週

間もあるのではなく、残り9週間しかないんだという気持 ちで、フランスでの牛活をエンジョイしたいと思います。 写真は友人たちが自分のバースデイパーティを開いてくれ たときのスナップです。



## インターンシップを通じて学んだこと 化学・バイォエ学コース1年 尾日向 駿介

私はオムツ等の生産メーカーであるユニ・チャームの日 本工場とベトナム工場でインターンシップを行いました。 日本とベトナムの製造の現場の違いはもちろん、5S(整 理・整頓・清掃・清潔・躾) などの製品を製造する上で必 要な考え方を異なる文化や価値観を持つ現地の方達に理解 してもらうことの難しさを学ぶことができました。

今回のインターンシップでGlobal人材について考える 機会があり、実際にGlobalに活躍されている日本人社員 の方々の経験や考えを聞くことができました。特に「現地 で製造に携わるには、その地でのものの見方とは離れた視 点を持つことが必要だ」と言われたことが印象に残ってい ます。これは確かに現地の方々の文化や価値観を尊重する ことは大切ではあるが、自分が相手に合わせてしまって は自分がわざわざ海外に来た意味がなくなってしまうた



め自分のモノサシを持 つことが必要という意 味でした。日本の工場 では設備安定稼働や生 産性向上が主な役割で あったが、海外の工場 ではそれ以外にも現地



社員の育成や職場風土改善等の多くの役割が求められるた め、Technical Skill・Human Skillはもちろん、全体 を概念でとらえ目標を明示し戦略を立てるConceptual Skillの三つの能力が海外で働くためには必要であること が分かりました。この三つ以外にも適応能力などの海外で 働く上で必要な能力は多くあるが、日本の技術やものづく りの考え方を伝えるという日本人としての役割を意識する ことが最も大切であると分かりました。

日本、ベトナムでのインターンシップを通して、製造業 における基礎知識や海外で働くという事について上記に挙 げたこと以外にも多くのことを学びました。今回学んだこ とを活かし、残りの学生生活を有意義に過ごしたいと思っ ています。

### 海外インターンシップ 社会環境システム工学コース1年 渡邉 一旭

私は、フランス北部のベトゥーヌの大学での3ヶ月間に 渡る海外インターンシップに参加しました。大学では研究 室に配属され、主に英語の授業と学生実験に出席し、現地 の学生と一緒に実験や研究などを行いました。学内での共 通語は英語であり、大学から一歩外へ出るとフランス語か 英語しか通じません。このような経験は非常に貴重であり、 刺激的であります。日本の学校では味わうことができない ような生活、勉強をすることができました。また、様々な 国からの留学生がいるため、寮や交流会などを通じて交流 することができました。

今回私は初めての海外、 親元を離れての寮生活、ほ とんど話したことのない 人達とのインターンシッ プ、ということで大きな不 安を抱えてフランスへと 渡りました。初めのうちこ そ大変でしたが、実際は毎 日に変化があり、充実した 楽しい日々を過ごすこと

ができました。特に語学に 関しては、自分の英会話力 が低いせいで苦労する場面 が多々あり、いろいろな人 に助けてもらうという場面 がありました。この海外イ ンターンシップは、積極的 な行動、コミュニケーショ ン能力、英会話能力の重要 性を確認するこができたい い機会となりました。







#### 海外インターンシップを終えて ビジネスコミュニケーション学コース1年 吉田

私はTownsville Grammar School(TGS)、The Cathedral School(TCS) , ST Patrick's College の3つの学校で海外インターンシップを行います。この3 つの学校では、日本語の授業を行っており、今回の私のイ ンターンシップに協力していただきました。

タウンズビルは北クイーンズランド州で最大の都市で、 年間を通して雨が少なく、温暖な気候です。私が訪れた8 月下旬から10月下旬は、冬から春に移り変わる時期で、と ても過ごしやすい季節でした。

私は以前から教育に興味があり、教育に関係する仕事に 関わりたいと考えています。現在の社会はグローバル化が 進み、日本にいても海外と関わることを避けることはでき ません。これは日本の教育にも影響が表れてくると考えて います。日本の教育現場に関わる前に、一度海外の教育現 場を肌で感じ、日本と海外の教育システムの違いを探して みたいと思っていました。そんな時に、いわき市とも姉妹 都市であるタウンズビルで教育に関係する海外インターン シップが出来ることを知り、参加してみたいと思ったこと をきっかけとして、今回の海外インターンシップを実現す ることが出来ました。

それぞれの学校での主な研修内容は、日本語の授業にア シスタントティーチャーとして参加し、ネイティブな日本

語と触れ合う機会を生 徒に持ってもらうこと です。日本語の授業へ参 加することはもちろん ですが、体育や行事など にも参加し、学生とより



深い交流ができたと感じています。私が参加した習字の授 業では、子供たちが純粋に習字を書くことを楽しみ、日本 の文化に興味を持つきっかけになっていると感じました。

今回オーストラリア滞在中にお世話になりました、ホー ムステイ先のDriver家には7歳になる女の子がおり、イン ターンシップ以外でも地元の子供たちと交流する機会を持 つことが出来ました。私はお土産に折り紙を持って行った のですが、鶴やカエルなどの折り紙の折り方を教えるなど してコミュニケーションを取り、より自然な交流を持つこ ともできました。

今回のインターンシップを機会として、日本とオースト ラリアの教育や生徒の違いについてレポートをまとめ、こ の海外研修を実りあるものにしたいと思っています。

今回の海外研修の実現に伴って、インターンシップに協 力していただいた教育施設、尽力してくださった方々、先 生方にこの場をお借りして感謝したいと思います。

#### ◆インターンシップ協力企業等一覧 ご協力に感謝申し上げます (種類別にアイウエオ順)

ANAラインメンテナステクニクス(株)、Child Hope Asia Philippines、JFEスチール(株)東日本製鉄所、JNC石油化学(株)、 MGCエレクトロテクノ(株)、会津オリンパス(株)、アウシュビッツ 平和博物館、アクアエンジニアリング(株)、あすか製薬(株)、アステ ラスファーマテック(株)、アルパイン(株)、アルパインマニュファク チャリング(株)、アルパイン技研(株)、一般社団法人 Bridge for Fukushima、一般社団法人 日本ヒューマン ビートボックス協会、 出光興産(株)、いわき信用組合、永大小名浜(株)、エヌ・ティ・ティ・ インフラネット(株)、エムシー・ファーティコム(株)、大阪ガス(株)、 小野田ケミコ(株)、オリエンタル白石(株)、カゴメ(株)、鹿島ブッ クセンター、(株) ANAエアサービス福島、(株) jig.jp、(株) JTB東 北、(株)NTT東日本-東北、(株)東コンサルタント、(株)アトックス、 (株)アルビオン、(株)五浦観光ホテル、(株)いわき市民コミュニティ放 送、(株)エイテック、(株)エイブル、(株)オージャスト、(株)大林組、(株) 加地和組、(株)クラレ、(株)クレオ、(株)クレハ、(株)クレハ環境、(株)鴻 池組、(株)佐藤農園、(株)三伸製作所、(株)シーアールイー、(株)常磐エ ンジニアリング、(株)総合環境分析、(株)相馬屋、(株)タダノ、(株)タン ガロイ、(株)長大、(株)テムロ、(株)東横イン、(株)日本コンピュータシ ステム、(株)ピーエス三菱、(株)富士通エフサス、(株)ふたば、(株)マイ スターエンジニアリング、(株)ミライト、(株)資生堂、(株)常磐製作所、 河井順行税理士事務所、キヤノン(株)、九鉄工業(株)、キューピー(株)、 クレハ錦建設(株)、公益社団法人 sweet treat 311、堺化学工 業(株)、サントリーホールディングス(株)、ジェイアール東日本コン サルタンツ(株)、清水建設(株)、常磐開発(株)、常磐共同火力(株)、 常磐興産(株)、新常磐交通(株)、ソニーエナジー・デバイス(株)、ソニー コーポレートサービス(株)、ダイキン工業(株)、大成建設(株)、ダン

ススタジオ ガーデン、電源開発(株)、東亜建設工業(株)、東京ガス(株)、 東京水道サービス(株)、東京電力(株)、東京パワーテクノロジー(株)、 特定非営利活動法人 I Loveつづき、特定非営利活動法人 ドット ジェイピー、トヨタ自動車東日本(株)、西尾レントオール(株)、日新 電機(株)、ニプロファーマ(株)、日本ケミコン(株)、日本工営(株)、 長谷川体育施設(株)、ハマツ観光(株)、東日本高速道路(株)、福島県 商工信用組合、福浜大一建設(株)、フタバコンサルタント(株)、ペー ルノエル、水ing (株)、ボーイズ アンド ガールズ、三井共同建設コ ンサルタント、ミツエイ(株)、三菱重工業(株)、三菱地所コミュニティ (株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、村田機械(株)、ムラテック CCS(株)、森永乳業(株)、(有)高木設計 一級建築設計事務所、ユニ・ チャーム(株)、花王(株)、古河電池(株)、三井住建道路(株)、昭和(株)、 新日鐵住金(株)、第一三共ケミカルファーマ(株)、東亜通商(株)、東 洋システム(株)、日栄地質測量設計(株)、日本テキサス・インスツル メンツ・セミコンダクター(株)、富士フイルムファインケミカルズ(株) 〈大学〉

金沢大学、京都大学、静岡大学、千葉大学 フロンティア医工学セ ンター、東京海洋大学、東京大学、東北大学、東北大学 金属材料 研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター、東北大学 多元物質科学研究所、長岡技術科学大学、北海道大学、横浜国立大 学、ヴァランシエンヌ技術短期大学(フランス)、カレー技術短期大 学(フランス)、ジェームズクック大学(オーストラリア)、ベテュー ヌ技術短期大学(フランス)、ランス技術短期大学(フランス)、リー ルA技術短期大学(フランス)

〈官公庁〉

いわき市役所、小野町役場 地域整備課、北茨城市役所、一般財団 法人 会津観光ビューロ、一般財団法人 ふくしま市町村支援機構、 国土交通省 東北地方整備局、国立研究開発法人 港湾空港技術研 究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構、福島県庁

### | 学生の海外での活躍|

# タウンズビルを訪れて



### コミュニケーション情報学科 2年 藤間なつみ

私は今回、いわき市青少年タウンズビル市訪問団の一員とし て、いわき市の姉妹都市であるタウンズビルを訪問した。海外 を訪れるのは初めてのことだったので、見たこと、聞いたこと、 取り組んだこと、すべてが新鮮で、まさに異文化といった感じ

タウンズビルに着いた最初の夜、私はお世話になったホスト ファミリーと初めて対面した。私が東日本大震災からの復興に ついて話すと、彼らは真剣に耳を傾けてくれていた。その姿勢 を見て、タウンズビルの人々は日本のことを本当に心配してく ださっているのだと感じた。

私が通ったカセドラルスクールでは、日本より進んだ教育を

肌で感じることが出来た。その学校では、生徒全員がタブレット端末を持ち、積極的な姿勢で授業を受けていた。授 業内容も日本よりはるかに分かりやすく、私たちが普段受けている教育がいかに固いものであるかが分かった。

初めて海外を訪れた私には、タウンズビルで確かめたいことが一つあった。それは、おもてなしは海外に存在す るのかということだ。日本独自の文化とされがちなおもてなしだが、実は海外にもそれは存在するのではないかと、 私はずっと疑問に思っていた。そしてタウンズビルでの生活を経験し、私の疑問は確信へと変わった。やはり、おも

てなしは海外にも存在していた。なぜなら私のホストファミ リーや、カセドラルスクールの友人が常に私のことを考慮し て行動してくれていたからだ。自己満足を押し付ける、いわ ゆるありがた迷惑なものではなく、本当に他人のことを思っ た彼らのふるまいを見て、私は自分が持っていた疑問を自ら の力で解決することが出来た。このような体験は、私にとっ て貴重なものとなるだろう。

今回の訪問では、タウンズビルのことを知り、いわき市 の現状を伝えることも出来た。このような体験を自分のうち に閉じ込めておくのではなく、様々な人に伝え、そしてまた 海外で同じような体験をしたいと、強く思う。



### が地域復興支援室の取り組み

### 社会人特別教育プログラム 「震災復興事業に携わる土木技術者の育成」 地域復興支援室

本校では、復興人材育成事業の1つとして、企業の従業員等の技術力と知識の向上を図って、地域企業の競争力を 高めるとともに、被災者の雇用機会拡大に貢献することを目的に社会人特別教育プログラムを実施している。今年度 は、震災復興事業に携わる土木技術者の育成を目的に5月16、17日には「1級土木施行管理技士を目指す人に」、9月5、 6日には「2級土木施行管理技士を目指す人に」と題した講義を行った。

講師は広野町復興企画課課長補佐(元東京 都港湾局部長) の佐々木栄三氏と福島高専特 命教授の霜田宜久氏の2人の専門家にお願い した。この1~2ヶ月後には実際の試験が行 われており、多くの合格者が出たものと期待 している。

今年度中に、再生可能エネルギー分野、原 子力安全分野においても同様に社会人特別教 育プログラムを実施する予定である。



# 平成27年度 体験入学を終

入学者対策専門部会長 根 本 昌 樹

平成27年度の体験入学は、8月1日(土)、2日 (日) で行われました。両日とも大変な猛暑の中 実施されましたが、大きなトラブルも無く無事に 終了することが出来ました。今年の参加者は683名 と昨年より80名ほどの減少となりましたが、充実 した体験入学となりました。今年の各学科のデモ 実験のテーマと内容等を紹介します。

# 機械工学科



「未来を創造する機械 工学を知ろう」という テーマで、①学科紹介 ②身の回りにあるもので モノづくり ③市民に役 立つモノづくりのデモ実 験を行いました。



# 電気工学科

「電気の世界へようこそ 見る・触る・感じる」というテー マで、①創作実習紹介 ②ものづくり体験コーナー ③国

際交流紹介を 行いました。





# 交流コーナー

休憩時間を利用して、①学校紹介 ②入試相談 ③ミニ 研究紹介 ④各種ロボコン出場実演 を行いました。更に 課外活動の紹介も行いました。

# 物質工学科



「化学への招待ー楽 しい化学の実験室ー」 というテーマで、「物質 工学科」を具体的に楽 しくイメージ出来るよ う「無電解めっき」のデ モ実験を行いました。



# 建設環境工学科

「災害に強いまちを造る」をテーマに、①コンクリート の破壊音を聞こう! ②スノウドリフトに負けない!極地 建物の今 の体験を行いました。



# コミュニケーション情報学科

「Reach Your Dreams!」というテーマで、①学科紹介 ②イスラム教と日本の文化 ③知って驚き!5%ビジネス の秘密について体験して貰いました。



	第52回東北地区	高専体育	大会結果(3	P成27年度)	
一関大会			個人戦	岡部 慧也 (3E)	2回戦敗退
■陸上競技(男子	≥)		"	向山 翔 (3M)	1回戦敗退
学校対抗	-Lafer Dis (AV)	第1位	"	大河原 拓(3M)	1回戦敗退
100m ″	古和口 廉(4K) 作山 巧次(4E)	第 1 位 第 4 位	// //	武田 達智(2C) 小室 宏貴(2K)	1回戦敗退 1回戦敗退
200m	古和口 廉 (4K)	第1位		小主 丛貝 (ZK)	1 四颗双及
//	作山 巧次 (4E)	第6位	団体戦		第5位
400 m	鈴木 陵太 (3E)	第2位	個人戦	小澤 友子 (5K)	第3位
//	坂本 淳 (5M)	第8位	"	馬目 由季 (1C)	1回戦敗退
800m	阿部 礼 (4M)	第3位	■テニス(男子)	)	
1500	吉田 廉(10)	第8位	団体戦	核士 打磨 (OM)	第1位
1500m	佐藤 利紀 (4M) 古川 裕基 (4K)	第 1 位 第 2 位	シングルス	橋本 拓実 (2M) 菊池 洋輝 (4M)	第 2 位 第 3 位
5000m	佐藤 利紀 (4M)	第1位	"	宮嶋 豪(4C)	2回戦敗退
//	遠藤 葵 (1E)	第3位	ダブルス	渡部 瞬 (5E)	
110m H	神部 光 (5K)	第1位		松崎 篤司 (5C)	第3位
3000 m SC	根本 優作 (2K)	第4位	//	渡邊 健汰 (5C)	
//	長谷川勇太(2E)	第 7 位 ) 第 1 位	<b>=</b> =-7 (#7	鈴木 喬也(3C)	2回戦敗退
$4\times100$ mR $4\times400$ mR	(作山・古和口・神部・鈴木) (神部・鈴木・今野・古和口)		■テニス(女子) 団体戦	,	第1位
走高跳	秋野 凉(1E)	第1位	シングルス	髙橋なるみ (4K)	第1位
//	大平 健一 (4E)	第5位	"	篠原なつみ (21)	第3位
棒高跳	狩野 知泰 (3M)	第3位	"	嘉齊 澪 (41)	2回戦敗退
//	尾股 佑亮(31)	第4位	ダブルス	松田 歩華 (4C)	
走幅跳	今野 和樹 (3K)	第1位		薄井小百合(4C)	第2位
// //	石井 太陽 (4C) 山部 伊織 (2K)	第 5 位 第 6 位	"	髙橋なるみ(4K) 篠原なつみ(2I)	第3位
三段跳	今野 和樹(3K)	第1位	■バドミントン		<b>寿 3</b> 位.
//	石井 太陽 (4C)	第3位	団体戦	(233)	第3位
//	大平 健一 (4E)	第4位	シングルス	西田 圭吾 (5M)	2回戦敗退
砲丸投	佐藤 将富(2C)	第1位	//	貝沼秀一郎(5E)	2回戦敗退
//	櫛田 秀人 (3E)	第2位	//	渡邉 将成 (5E)	2回戦敗退
円盤投	櫛田 秀人 (3E)	第1位	"	青木健一郎(5K)	2回戦敗退
// //	佐藤 将富 (2C) 渡部 滉大 (5K)	第 3 位 第 6 位	〃 ダブルス	星 祐太(5K) 西田 圭吾(5M)	1回戦敗退
やり投	渡邉 隆也(4C)	第1位	7 7 7 7	星 祐太 (5K)	1回戦敗退
"	渡部 滉大 (5K)	第2位	//	貝沼秀一郎 (5E)	
//	五十嵐拓海 (1E)	第4位		青木健一郎(5K)	1回戦敗退
■陸上競技(女子	≥)	A.A 41	"	渡邉 将成 (5E)	
学校対抗	上圷千華子(1I)	第2位	<b>-</b> /*!*>\.\.\	佐藤 将時(4K)	1回戦敗退
100m ″	正环丁華丁(II) 武藤 咲希(2I)	第 2 位 第 3 位	■バドミントン 団体戦	(女子)	第1位
800m	武藤 咲希 (21)	第1位	シングルス	薄葉なつみ (5C)	第1位
//	木田亜梨沙 (3K)	第3位	"	村上あずさ (51)	2回戦敗退
$4\times100\mathrm{mR}$	(上圷・武藤・木田・八島)	第2位	"	小松 愛 (5I)	2回戦敗退
走幅跳	上圷千華子(II)	第2位	"	佐川 睦実 (4C)	1回戦敗退
<i>"</i> 円盤投	八島すみれ(1I) 根本 恵(5C)	第 8 位 第 1 位	〃 ダブルス	山野辺百花(4K) 薄葉なつみ(5C)	2回戦敗退
// 1 1 mm 1 X	吉田 葵(3K)	第6位	1 1 1 1 1	山野辺百花(4K)	第3位
やり投	大久保 萌 (2I)	第3位	//	村上あずさ (51)	>1 <del>+</del> = 1
	佐藤 里佳 (4C)	第5位		小松 愛 (5I)	2回戦敗退
■バスケットボー		第3位	//	佐川 睦実 (4C)	
予選リーグ	福島 66-78 仙台名取			藤枝 まみ (3K)	2回戦敗退
独勝トーナメン	福島 86-53 仙台広瀬 ト福島 60-85 八戸		宮城大会 ■バレーボール	(里子)	第3位
■バスケットボー		第4位	予選リーグ	福島 2-0 秋田	35 O IV.
	福島 31-86 仙台名取	>14 - 1222	1~2/	福島 2-0 仙台広瀬	
	福島 25-87 秋田			福島 0-2 仙台名取	
■卓球(男子)		A.A 41		↑ 福島 0 − 2 鶴岡	A.A 21
団体戦	伊爾 工材 (417)	第1位	■バレーボール		第2位
シングルス	安齋 正樹(4K) 木田 貴文(5C)	第 1 位 第 2 位	予選リーグ	福島 0-2 鶴岡 福島 2-0 仙台広瀬	
"	谷本 純一 (1E)	第3位	決勝トーナメン	ト福島 2-0 八戸	
"	矢内 智大 (4M)	第4位		福島 0-2 鶴岡	
"	佐藤 瑞樹 (5C)	ベスト8	■柔道		
//	鯨岡 康佑 (4E)	ベスト8	個人戦 (60kg約	吸)原 匡彦 (4K)	2回戦敗退
"	加藤 翔(2E)	ベスト8	■硬式野球		第1位
ガゴルフ	高信 京介(4E)	ベスト16	トーナメント	福島 8-2 秋田	
ダブルス	木田 貴文 (5C) 佐藤 瑞樹 (5C)	第1位	■サッカー	福島 10-4 一関	第1位
//	安齋 正樹 (4K)	NA T III.	予選リーグ	福島 3-0 秋田	37 I IV.
	矢内 智大 (4M)	第2位		福島 3-0 一関	
■卓球(女子)			決勝戦	福島 0-0 八戸 (4 PK	3)
シングルス	齋藤佳菜子(5I)	第1位	■ソフトテニス	(男子)	AA- 0 11
	佐藤 泉(31)	第2位	団体戦	学中华 (AU)	第3位
ダブルス	高橋 百花(2I) 齋藤佳菜子(5I)	第3位	ダブルス	武藤 尚樹 (4K) 山口 敦士 (4M)	第1位
, , NA	角藤佳来丁(31) 岡部あゆみ(11)	第1位	//	山口 教士 (4M) 佐藤 喜治 (5M)	25 I IV
	佐藤 泉(31)	74 ± 117	•	安瀬 登軌 (5E)	2回戦敗退
	高橋 百花(21)	第2位	//	松本 恭彦 (4K)	
■剣道(男子)		a.e		佐野 友啓 (5K)	2回戦敗退
団体戦	HZ D XII & (EV)	第5位	//	千葉裕太郎 (3C)	O ETWINDENE
個人戦 <i>"</i>		2回戦敗退		赤津 利也(4E)	2回戦敗退
**	PLDK 网久月(30)	2回戦敗退			

■ソフトテニス(			100m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M)	第1位
ダブルス	西内 瑞生(4K)	그 전마다 11	//	小林 基晃 (1C)	第5位
//	坂下和香奈(4C) 古川 千尋(2M)	予選敗退	200m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M) 小林 基晃(1C)	第 1 位 第 3 位
"	福田 七唯(1I)	予選敗退	100mバタフライ		第1位
"	伊東 未歩 (21)	1 22 12 12	//	福原 至音(1C)	第5位
	青木麻里乃 (1K)	予選敗退	200mバタフライ	'吉田 拓実 (1K)	第1位
シングルス	古川 千尋 (2M)	第3位	"	会田 優斗 (2K)	第4位
	福田 七唯(11)	第4位	200m個人メドレー		第3位
	青木麻里乃(1K)	3回戦敗退	"	山下 秀(5M)	第5位
=-1/3.664+ /EF	伊東 未歩(2I)	2回戦敗退	400mリレー	(池田・吉田拓・吉田光・佐	
■水泳競技(男子) 学校対抗	F)	第1位	800mリレー	(吉田拓・池田・仲村・生) - (生方・佐々木・吉田拓・池	
50m自由形	吉田 光義 (4M)	第4位	■水泳(女子)	(主为 位、水 自由和 自	2HI) 24 1 III.
100m自由形	松田 裕樹 (5E)	第4位	学校対抗		第1位
//	吉田 光義 (4M)	第5位	100m自由形	小野 晶子 (5C)	第2位
//	山口 聖二 (11)	第7位	//	櫻井 友香 (2I)	第3位
200m自由形	松田 裕樹(5E)	第4位	200m自由形	鈴木 碧 (4I)	第1位
″	四倉 悠介(4K)	第5位	"	櫻井 友香 (2I)	第2位
//	齊藤 圭紀(3M)	第6位	//	草野 梨緒(11)	第7位
400m自由形 ″	池田虎太郎(1I) 仲村	第 1 位 第 6 位	50m背泳ぎ 100m平泳ぎ	鈴木 碧(4I) 渡邊 涼子(1I)	第 3 位 第 3 位
"	(5K) (5K) (5K) (5K) (5K)	第7位	100m千休さ ″	仮愛 - 保丁 (11) 佐々木夏子 (5C)	第5位
800m自由形	池田虎太郎 (1I)	第1位	200m平泳ぎ	小野 晶子 (5C)	第1位
//	仲村 誉 (3K)	第3位	//	渡邊 涼子 (11)	第2位
//	坂本 亮太 (2M)	第6位	"	佐々木夏子 (5C)	第4位
100m背泳ぎ	生方 歩高 (4M)	第1位	50mバタフライ	'大橋 星花 (4I)	第2位
//	菊地 啓太(3C)	第5位	200mリレー	(櫻井・大橋・鈴木・小野)	
200m背泳ぎ	生方 歩高 (4M)	第1位	200mメドレーリレー	- (鈴木・小野・大橋・櫻井)	第1位
"	菊地 啓太(3C)	第4位			
//	山口 聖二(11)	第5位			
	第	50回全国高専	存育大会結:	果	
■陸上競技			■テニス		
北九州高専(東	東平尾公園博多の森陸上第	竞技場)	熊本高専八代キ	ニャンパス	
(男子)			(熊本県民総合)	運動公園パークドーム熊本)	
学校対抗		第5位	(男子)		
100m	古和口 廉 (4K)	第3位	団体戦		2回戦敗退
200m	古和口 廉 (4K)	第2位	シングルス	橋本 拓実 (2M)	2回戦敗退
4×100mR	(今野・古和口・神部・		(女子)	方 た ナ フ フ ( 4V )	·: - 1 4
4×400mR 走幅跳	(神部・鈴木・今野・さ 今野 和樹 (3K)	前和口) 第 2 位 第 2 位	シングルス ダブルス	髙橋なるみ(4K) 松田 歩華 (4C)	ベスト4
三段跳	今野 和樹 (3K)	第5位	9 7 10 10	薄井小百合(4C)	2回戦敗退
やり投	渡邉 隆也 (4C)	第4位	■ソフトテニス	1471/1/11 (16)	2 ETAXXE
400mH	神部 光 (5K)	第1位		『城運動公園庭球場・綾てる』	はドーム)
	鈴木 陵太 (3E)	第5位	(男子)		
(女子)			ダブルス	武藤 尚樹 (4K)	
学校対抗	-h-tt	第1位		山口 敦士 (4M)	2回戦敗退
800m	武藤 咲希(21)	第1位	■ <b>サッカー</b> + 八京東 <i>(</i> +:ハ	ヘコポール ハ国ユーホー・ニ	<b>が</b> 13 4日)
走幅跳 4×100mR	上圷千華子(1I) (上圷・武藤・木田・バ	第 1 位 (島) 第 7 位	人分局界(人为 1回戦	テスポーツ公園サッカー・ラ』 - 福島 1-0 近畿大学	クヒー場)
<b>■卓球</b>	(上)、武縣、水田、/	(四) 为 (世.	2回戦	福島 1-0 廷畝八子	
沖縄高専(那覇	<b>眉市民体育館</b> )		準決勝	福島 0-2 鈴鹿	第3位
(男子)	7777-411 13 207		■水泳	111111111111111111111111111111111111111	>14 - 1
団体戦		第1位		E児島市鴨池公園水泳プール)	)
シングルス	安齋 正樹 (4K)	第3位	学校対抗		第3位
	木田 貴文 (5C)	第5位	(男子)	N - B 1 !- / :	
ダブルス	安齋 正樹 (4K)	Andre at 11	400m自由形	池田虎太郎(11)	第6位
	矢内 智大(4M)	第1位	800m自由形	池田虎太郎(11)	第8位
"	木田 貴文 (5C)	答った	100 亚冯. ゼ	仲村 誉(3K) 生力本語之会(1M)	第19位
(女子)	佐藤 瑞樹 (5C)	第3位	100m平泳ぎ 200m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M) 佐々木龍之介(1M)	第 4 位 第 5 位
団体戦		第1位	200m平泳さ 100m背泳ぎ	生方 歩高(4M)	第3位
50 本報 シングルス	佐藤 泉 (3I)	第2位	100m 背泳さ 200m 背泳ぎ	生方 歩高(4M)	第3位
"	齋藤佳菜子(5I)	第3位	100m バタフラ		第3位
ダブルス	佐藤 泉(31)	N 0 IT		,吉田 拓実 (1K)	第1位
	高橋 百花(21)	第1位	400mリレー	(池田・松田・吉田・生方)	
"	齋藤佳菜子(51)			- (生方・佐々木・吉田・池)	
	岡部あゆみ (1I)	第3位	(女子)		
■バドミントン	1. III./III		100m自由形	小野 晶子 (5C)	第6位
	生世保市体育文化館)		50mバタフライ		第8位
(女子)		1 同能服 1	200mリレー <b>■福士昭弘</b>	(櫻井・大橋・鈴木・小野)	第2位
団体戦 シングルス	薄葉なつみ (5C)	1回戦敗退 2回戦敗退	<b>■硬式野球</b> 久留米高専(タ	(留米市野球場)	
~~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	母末は ノダ (36)	4 四ా双双	八田小同号(〉	(留不印野球場) 福島 4-11 近畿大学	2回戦敗退
		· 华兴·六/+-李-	+~~~		17/22
	E	等学校体育	へ会寺の結果	₹	
	高等学校体育大会 県大会 	<del>}</del>		福島高専 50-93 日大東北	高校
■陸上競技(男子		M. (+11 1 A .: 14)	■ソフトテニス	(男子)	
400 m H		は、東北大会出場)	団体戦	了。春秋上的 (90)	1回戦敗退
走幅跳		ら位(東北大会出場) - 位(東北大会出場)	ダブルス	千葉裕太郎 (3C)	日、4H4税口 C
三段跳 ハンマー投	今野 和樹(3K) 第 4 佐藤 将富(2C)	位(東北大会出場) 第7位	"	鈴木 渓太 (3K) 小野 智也 (2M)	3回戦敗退
■陸上競技(女		No 1 IT	"	乙山 翔太 (2K)	2回戦敗退
800m		位(東北大会出場)	■ソフトテニス		17/4/2
	-ル(男子)	1回戦敗退	団体戦	<del>-</del> -	1回戦敗退
<b>■ハスクットホー</b>					

■ニーフ (田之)			○第70同声セルシ	+ <u>A</u>
■テニス(男子) 団体戦		3 回戦敗退	◎第70回東北水泳 第63回東北高等	八云 · 釈 学校選手権水泳競技大会
シングルス	橋本 拓実 (2M)	第8位(東北大会出場)	高等学校の部	
ダブルス	鈴木 喬也 (3C)	JO DE CHOICH CALL	400m自由形	池田虎太郎(1I) 予選敗退
, , , , , ,	橋本 拓実 (2M)	2回戦敗退	1500m自由形	
■テニス(女子)	Hed. L. All DC (2007)		100m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M) 予選敗退
団体戦		1回戦敗退	200m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M) 予選敗退
■卓球(男子)	学校対抗	ベスト8		吉田 拓実 (1K) 第6位
<b>■平場(知</b> 」) シングルス	松崎 大悟 (1M)	2回戦敗退		吉田 拓実 (1K) 第9位
	加藤 翔 (2E)	1回戦敗退	800mリレー	
//	渡邊 陽斗 (1M)	1回戦敗退		· (菊地、佐々木、仲村、山口) 予選敗退
"	渡邉 凌(3M)	2回戦敗退	一般の部	ルナ (b) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A
// *****	谷本 純一 (1E)	1回戦敗退		生方 歩高 (4M) 第1位
ダブルス	加藤 翔 (2E)			生方 歩高 (4M) 第1位
	谷本 純一(1E)	ベスト8		生方 歩高 (4M) 他 第1位
卓球(女子)	学校対抗	第3位		·生方 歩高(4M)他 第1位
シングルス		第 5 位(全国大会出場)	※県選抜メンバ	
//	佐藤 泉 (3I)~	ベス ト16(東北大会出場)	◎第84回全国高等	学校卓球選手権大会
//	高橋 百花(2I)	ベスト16 (東北大会出場)	女子シングルス	猪狩 栞菜(3I) 2回戦敗退
//	岡部あゆみ (1I)	2回戦敗退	女子ダブルス	佐藤 泉 (3I)
ダブルス	佐藤 泉(3I)			岡部あゆみ (1I) 1回戦敗退
		第 1 位(全国大会出場)	◎平成27年度福島	県高等学校新人体育大会 県大会
//	猪狩 栞菜 (3I)	214 - III (III) (III)	■陸上競技(男子	
	高橋 百花 (21)	ベスト8	砲丸投	, 佐藤 将富 (2C) 第 7 位
剣道(男子)	led lind   Li LE (21)	15(1.0	円盤投	佐藤 将富 (2C) 第 6 位
はいいません ファックス ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン アイス		1回戦敗退	ハンマー投	佐藤 将富(2C) 第3位(東北大会出場)
	<b>₩</b> Δ			
水泳(男子)	総合	第6位	やり投	五十嵐拓海(1E) 第7位
200m自由形	仲村 誉 (3K)	予選敗退	■陸上競技(女子	
400m自由形	池田虎太郎(1I)	第7位(東北大会出場)	800 m	武藤 咲希(21) 第2位(東北大会出場)
//	仲村 誉(3K)	予選敗退	走幅跳	上圷千華子(11) 第1位(東北大会出場)
1500m自由形	池田虎太郎 (1I)	第 4 位(東北大会出場)	棒高跳	上坏千華子(1I) 第6位
//	坂本 亮太 (2M)	17位	■テニス(男子)	
100m背泳ぎ	今野 裕斗 (1E)	予選敗退	団体戦	3回戦敗退
"	山口 聖二 (1I)	予選敗退	シングルス	橋本 拓実 (2M) ベスト16
//	菊地 啓太(3C)	予選敗退	//	蛭田 貴之(2E) 2回戦敗退
200m背泳ぎ	今野 裕斗 (1E)	予選敗退	//	福永 勇満 (2K) 1 回戦敗退
//	山口 聖二 (1I)	予選敗退	■テニス(女子)	
"	菊地 啓太 (3C)	予選敗退	団体戦	2 回戦敗退
100m平泳ぎ		1) 第 4 位(東北大会出場)	■水泳(男子)	
//	小林 基晃 (1C)	予選敗退	50m自由形	井上 亮(1M) 予選敗退
200m平泳ぎ		1) 第 2 位(東北大会出場)	100m自由形	井上 亮 (1M) 予選敗退
//				
	小林 基晃 (1C)	予選敗退	<i>"</i>	福原 至音(10) 予選敗退
100mバタフライ		予選敗退	//	吉田 拓実 (1K) 第 4 位 (東北大会出場)
"		第 2 位(東北大会出場)	200m自由形	池田虎太郎 (1I) 第4位
200mバタフライ		第 4 位(東北大会出場)	//	坂本 亮太 (2M) 予選敗退
"	会田 優斗 (2K)	予選敗退	400m自由形	池田虎太郎(1I) 第 4 位(東北大会出場)
200m個人メドレー		予選敗退	"	坂本 亮太 (2M) 予選敗退
400mリレー	(山口、今野、小林	木、福原) 予選敗退	100m背泳ぎ	今野 祐斗 (1E) 予選敗退
800mリレー	(池田、佐々木、言	与田、仲村)	//	小林 基晃 (1C) 予選敗退
		第8位(東北大会出場)	//	山口 聖二 (1I) 予選敗退
400mメドレーリレー	(池田、佐々木、)	与田、仲村)	200m背泳ぎ	今野 祐斗 (1E) 予選敗退
	(1211)	第6位(東北大会出場)	//	山口 聖二 (1I) 予選敗退
水泳(女子)		370世(宋北八五田物)	100m平泳ぎ	佐々木龍之介(1M) 第5位
50m自由形	櫻井 友香 (2I)	予選敗退	//	長谷川貴哉(2K) 予選敗退
100m自由形	櫻井 友香 (2I)	予選敗退	200m平泳ぎ	佐々木龍之介 (1M)第3位 (東北大会出場)
100m平泳ぎ	渡邊 涼子 (11)	予選敗退	100	長谷川貴哉(2K) 予選敗退
200m平泳ぎ	渡邊 涼子(11)	予選敗退		吉田 拓実 (1K) 第 1 位 (東北大会出場)
バドミントン(			200mバタフライ	
個人戦	川音 裕也(1M)	1回戦敗退	200m個人メドレー	
バドミントン(	女子)		"	福原 至音(1C) 予選敗退
団体戦		1回戦敗退	//	会田 優斗 (2K) 予選敗退
弓道(男子)			400mリレー	(池田、福原、佐々木、吉田) 第6位
個人	八木橋慧人(3I)	予選敗退	400mメドレーリレー	・(今野、佐々木、吉田、池田)
//	尾﨑 貴英 (2K)	予選敗退		第 3 位(東北大会出場)
弓道(女子)			総合	第4位
	松﨑由季乃(3K)	予選敗退	■水泳(女子)	×.* - 1
個人	12 mil III 1-/1 (OIL)		50m自由形	古田 もも (1E) 予選敗退
個人 <i>"</i>	横田 美月 (3K)	予選敗退		
//	横田 美月 (3K)		//	
<i>"</i> 第70回東北高等	横田 美月(3K) 学校陸上競技選手	<b>雀大会</b>		櫻井 友香(2I) 予選敗退
″ <b>第70回東北高等</b> 男子400mH	横田 美月 (3K) <b>学校陸上競技選手</b> 鈴木 陵太 (3E)	<b>権大会</b> 準決勝敗退	″ 100m自由形 ″	<ul><li>櫻井 友香 (2I)</li><li>古田 もも (1E)</li><li>予選敗退</li></ul>
<i>"</i> <b>第70回東北高等</b> 男子400mH 男子走幅跳	横田 美月 (3K) <b>学校陸上競技選手</b> 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K)	<mark>崔大会</mark> 準決勝敗退 第26位	100m自由形 ″	<ul><li>櫻井 友香 (2I)</li><li>古田 もも (1E)</li><li>伊井 友香 (2I)</li><li>予選敗退</li><li>伊井 友香 (2I)</li><li>予選敗退</li></ul>
″ <b>第70回東北高等</b> 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K)	<b>権大会</b> 準決勝敗退 第26位 第 9 位	100m自由形 <i>"</i> 100m平泳ぎ	<ul><li>櫻井 友香 (2I)</li><li>古田 もも (1E)</li><li>伊井 友香 (2I)</li><li>沙選敗退</li><li>フ選敗退</li><li>渡子 (1I)</li><li>予選敗退</li><li>予選敗退</li></ul>
″ <b>第70回東北高等</b> 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 武藤 咲希 (2I)	<b>権大会</b> 準決勝敗退 第26位 第 9 位 準決勝敗退	100m自由形 <i>"</i> 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ	櫻井       友香 (2I)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (2I)       予選敗退         渡邊       涼子 (1I)       予選敗退         渡邊       涼子 (1I)       予選敗退
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 六野 和樹 (3K) 武藤 咲希 (21) 学校テニス選手権	権大会 準決勝敗退 第26位 第 9 位 準決勝敗退 大会	100m自由形 ″ 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ ◎第20回東北高等	櫻井       友香 (2I)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (2I)       予選敗退         渡邊       涼子 (1I)       予選敗退         学校新人陸上競技選手権大会
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 男子800m 第56回東北高等 男子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 武藤 咲希 (2I) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M)	<b>権大会</b> 準決勝敗退 第26位 第 9 位 準決勝敗退 大会 1 回戦敗退	100m自由形 ″ 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>③第20回東北高等</b> 男子ハンマー投	櫻井     友香 (21)     予選敗退       古田     もも (1E)     予選敗退       櫻井     友香 (21)     予選敗退       渡邊     涼子 (11)     予選敗退       沙校新人陸上競技選手権大会     第14位       佐藤     将富 (2C)     第14位
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングルス 第69回東北高等	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 ஸ 栄希 (2I) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大	準決勝敗退 第26位 第9位 準決勝敗退 大会 1回戦敗退	100m自由形 ″ 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>③第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m	櫻井       友香 (21)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (21)       予選敗退         渡邊       涼子 (11)       予選敗退         夢校新人陸上競技選手権大会       佐藤 将富 (2C)       第14位         武藤       咲希 (21)       第2位
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 サ子800m 第56回東北高等 男子シングルス 第69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 学校一二ス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 猪狩 栞菜 (3I)	<ul><li>準大会</li><li>準決勝敗退</li><li>第26位</li><li>第9位</li><li>準決勝敗退</li><li>大会</li><li>1 回戦敗退</li><li>ベスト32</li></ul>	100m自由形 // 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ ②第20回東北高等 男子ハンマー投 女子800m 女子生幅跳	櫻井       友香 (21)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (21)       予選敗退         渡邊       涼子 (11)       予選敗退 <b>学校新人陸上競技選手権大会</b> 第14位         佐藤       将宮 (2C)       第2位         上圷千華子 (11)       第2位
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングルス 第69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今下 和樹 (3K) 今下 和樹 (3K) 学校一二二次選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 猪狩 栞菜 (3I) 高橋 百花 (2I)	<ul><li>準大会</li><li>準決勝敗退</li><li>第26位</li><li>第9位</li><li>準決勝敗退</li><li>大会</li><li>1 回戦敗退</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li></ul>	100m自由形 // 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ ②第20回東北高等 男子ハンマー投 女子800m 女子生幅跳	櫻井       友香 (21)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (21)       予選敗退         渡邊       涼子 (11)       予選敗退         学校新人陸上競技選手権大会       第14位         武藤       咲希 (21)       第2位         上圷千華子 (11)       第2位         学校野球選手権大会福島大会
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングル高等 好69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 武藤 咲希 (2I) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 着狩 栞 (3I) 佐藤 泉 (3I)	<ul><li>準大会</li><li>準決勝敗退</li><li>第26位</li><li>第9位</li><li>準決勝敗退</li><li>大会</li><li>1 回戦敗退</li><li>ベスト32</li></ul>	100m自由形 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 <b>第97回全国高等</b>	<ul> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>古田 もも (1E)</li> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>渡邊 涼子 (11)</li> <li>沙校新人陸上競技選手権大会</li> <li>佐藤 将電 (2C)</li> <li>上坪千華子 (11)</li> <li>学校野球選手権大会福島大会</li> <li>福島高専 1-11 小高工業</li> </ul>
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男569回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今下 和樹 (3K) 今下 和樹 (3K) 学校一二二次選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 猪狩 栞菜 (3I) 高橋 百花 (2I)	<ul><li>準大会</li><li>準決勝敗退</li><li>第26位</li><li>第9位</li><li>準決勝敗退</li><li>大会</li><li>1 回戦敗退</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li></ul>	100m自由形 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 <b>第97回全国高等</b>	櫻井       友香 (21)       予選敗退         古田       もも (1E)       予選敗退         櫻井       友香 (21)       予選敗退         渡邊       涼子 (11)       予選敗退         学校新人陸上競技選手権大会       第14位         武藤       咲希 (21)       第2位         上圷千華子 (11)       第2位         学校野球選手権大会福島大会
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングルス 第69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 武藤 咲希 (2I) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 着狩 栞 (3I) 佐藤 泉 (3I)	<ul><li>準大会</li><li>準決勝敗退</li><li>第26位</li><li>第9位</li><li>準決勝敗退</li><li>大会</li><li>1 回戦敗退</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li><li>ベスト32</li></ul>	100m自由形 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 <b>第97回全国高等</b>	<ul> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>古田 もも (1E)</li> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>渡邊 涼子 (11)</li> <li>沙校新人陸上競技選手権大会</li> <li>佐藤 将電 (2C)</li> <li>上坪千華子 (11)</li> <li>学校野球選手権大会福島大会</li> <li>福島高専 1-11 小高工業</li> </ul>
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングルス 第69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 会野 和樹 (3K) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大, 猪育 草花 (2I) 佐藤 泉 (3I) 佐藤 泉 (3I) 岡部あゆみ (1I)	<b>権大会</b> 準決勝敗退 第26位 第 9 位 準決勝敗退 大会 1 回戦敗退 ベスト32 ベスト32 ベスト64	100m自由形 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ 第20回東北高等 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 ●第97回全国高等 ●第67回秋季東北	<ul> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>古田 もも (1E)</li> <li>伊井 友香 (21)</li> <li>伊藤 京子 (11)</li> <li>学校新人陸上競技選手権大会</li> <li>佐藤 将富 (2C)</li> <li>武藤 咲希 (21)</li> <li>上圷千華子 (11)</li> <li>学校野球選手権大会福島大会</li> <li>福島高専 1-11 小高工業</li> <li>地区高等学校野球福島県大会</li> <li>福島高専 2-4 福島北高校</li> </ul>
# 第70回東北高等 男子400mH 男子走幅跳 男子三段跳 女子800m 第56回東北高等 男子シングル高等 好69回東北高等 女子シングルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 会野 和樹 (3K) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大, 猪育 草花 (2I) 佐藤 泉 (3I) 佐藤 泉 (3I) 岡部あゆみ (1I)	<b>権大会</b> 準決勝敗退 第26位 第9位 準決勝敗退 大会 1回戦敗退 ベスト32 ベスト32 ベスト64	100m自由形 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ 第20回東北高等 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 ●第97回全国高等 ●第67回秋季東北	<ul> <li>櫻井 友香 (21)</li> <li>古田 もも (1E)</li> <li>伊井 友香 (21)</li> <li>伊藤 京子 (11)</li> <li>学校新人陸上競技選手権大会</li> <li>佐藤 将富 (2C)</li> <li>武藤 咲希 (21)</li> <li>上圷千華子 (11)</li> <li>学校野球選手権大会福島大会</li> <li>福島高専 1-11 小高工業</li> <li>地区高等学校野球福島県大会</li> <li>福島高専 2-4 福島北高校</li> </ul>
# 第70回東北高等 男子400mH 男子主幅跳 男子三段跳 男子三段跳 第56回東北高等 男子50回東北高等 男子シングルス 第49回東北高等 女子ダブルス	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 猪狩 章花 (21) 佐藤 泉 (31) 佐藤 泉 (31) 佐藤 ゆみ (11)	準大会 第26位 第9位 第9位 準決勝敗退 大会 1回戦敗退 ベスト32 ベスト32 ベスト64 ベスト16 各協会・連盟主	100m自由形 // 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>)第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子患幅跳 <b>)第97回全国高等</b> <b>)第67回秋季東北</b> <b>単大会等の結</b> 400mH	櫻井 友香 (21)       予選敗退         古田 もも (1E)       予選敗退         櫻井 友香 (21)       予選敗退         渡邊 涼子 (11)       予選敗退 <b>沙校新人陸上競技選手権大会</b> 第2位         佐藤 将宮 (2C)       第2位         武藤 咲希 (2I)       第2位         上坏千華子 (1I)       第2位 <b>学校野球選手権大会福島大会</b> 福島高専 1 - 11 小高工業         地区高等学校野球福島県大会       福島北高校         本場高専 2 - 4 福島北高校       第2位         東部 光 (5K)       第2位
第70回東北高等 男子400mH 男子走段跳 男子志段跳 女子800m 第56回東北高等 第69回東北高等 女子シングルス 女子ダブルス 第68回福島県総 陸上競技(男子	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 会野 和樹 (3K) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大。 猪商 百花 (21) 佐藤 泉 (31) 佐藤 泉 (31) 岡部あゆみ (11)	準決勝敗退 第26位 第9位 準決勝敗退 大会 1回戦敗退 ベスト32 ベスト32 ベスト64 ベスト16 各協会・連盟主	100m自由形 // 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子走幅跳 <b>第97回全国高等</b> <b>第67回秋季東北</b> <b>進大会等の結</b> 400mH	櫻井 友香 (21) 子選敗退 古田 もも (1E) 子選敗退 櫻井 友香 (21) 子選敗退 櫻井 友香 (21) 子選敗退 渡邊 涼子 (11) 子選敗退 <b>学校新人陸上競技選手権大会</b> 佐藤 将宮 (2C) 第14位 武藤 咲希 (2I) 第 2位 上圷千華子 (1I) 第 2位 <b>学校野球選手権大会福島大会</b> 福島高専 1 - 11 小高工業 地区高等学校野球福島県大会福島高専 2 - 4 福島北高校 <b>禁</b>
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	横田 美月 (3K) 学校陸上競技選手 鈴木 陵太 (3E) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 今野 和樹 (3K) 学校テニス選手権 橋本 拓実 (1M) 学校卓球選手権大 猪狩 章花 (21) 佐藤 泉 (31) 佐藤 泉 (31) 佐藤 ゆみ (11)	準大会 第26位 第9位 第9位 準決勝敗退 大会 1回戦敗退 ベスト32 ベスト32 ベスト64 ベスト16 各協会・連盟主	100m自由形 // 100m平泳ぎ 200m平泳ぎ <b>)第20回東北高等</b> 男子ハンマー投 女子800m 女子患幅跳 <b>)第97回全国高等</b> <b>)第67回秋季東北</b> <b>単大会等の結</b> 400mH	櫻井 友香 (21)       予選敗退         古田 もも (1E)       予選敗退         櫻井 友香 (21)       予選敗退         渡邊 涼子 (11)       予選敗退 <b>沙校新人陸上競技選手権大会</b> 第2位         佐藤 将宮 (2C)       第2位         武藤 咲希 (2I)       第2位         上坏千華子 (1I)       第2位 <b>学校野球選手権大会福島大会</b> 福島高専 1 - 11 小高工業         地区高等学校野球福島県大会       福島北高校         本場高専 2 - 4 福島北高校       第2位         東部 光 (5K)       第2位

$4\times100$ mR $4\times400$ mR	(作山、古和口、神部、 (神部、鈴木、今野、古		◎天皇賜盃第84回日 男子400mH	<b>3本学生陸上競</b> 神部 光(5)	
■陸上競技(女子	<del>-</del> )		◎第37回北日本学会	主陸上競技対校	
800m 走幅跳	武藤 咲希(2I) 上圷千華子(1I)	第 5 位 第 1 位	男子200m 男子400mH	古和口 廉 (4) 神部 光 (5)	
<b>■ソフトテニス(</b>			◎第94回全国高等等		手権大会福島県大会
ダブルス	鈴木 渓太 (3K) (ペアは他校選手)	2回戦敗退	◎第44回ゴーセン村	福島高専 1 — <b>不争奪戦ハイス</b>	2 田村高校 <b>クールジャパンカ</b> ップ
"	千葉裕太郎 (3C)		ソフトテニス201	5 福島県代表	選考大会
■ソフトテニス(	飯塚 睦(2M) (カス)	2回戦敗退		千葉裕太郎(3) 鈴木 渓太(3)	
<b>■ブラドケース</b> 、 ダブルス	青木麻里乃(1K)			高橋 昴太(3	
	大坊知里子(11)	2回戦敗退		小野 玲史(3	
"	古川 千尋 (2M) 福田 七唯 (1I)	1回戦敗退	"	酒井 達弥(3) 乙山 翔太(2)	
■テニス (男子)			"	吉田 翔太(2	K)
I 部シングルス ″	、蛭田 貴之(2E) 福永 勇満(2K)	3 回戦敗退 3 回戦敗退	女子ダブルス	小泉 亮太 (2) 古川 千尋 (2)	
"	澤田 怜悟 (2C)	2回戦敗退		青木麻里乃(1)	K) 2回戦敗退
I部ダブルス	蛭田 貴之(2E) 澤田 怜悟(2C)	2 回戦敗退	◎第13回福島県高等 男子団体戦	等学校春季ソフ	トテニス大会 予選リーグ敗退
"	小松 誠司 (3M)	2 四颗双返		季ジュニアシン	グルステニス選手権大会
TI della a constitue della constitua della constitua della constitua della constitua della constitua della constitua della con	根本 晃成 (3M)	1回戦敗退	U18男子シングルス		
Ⅱ部シングルス Ⅱ部ダブルス	、若松 大雅 (1E) 若松 大雅 (1E)	2回戦敗退		鈴木 喬也(3 繋ジュニアダブ	<ul><li>C) 2 回戦敗退</li><li>ルステニス選手権大会</li></ul>
пируулга	馬場 那仰 (1K)	ベスト16	U18男子ダブルス	橋本 拓実(2	M)
//	嘉齊 淨(1I) 宮崎 慧(1I)	ベスト16	//	(ペアは他校選 鈴木 喬也(3	
テニス(女子)	当啊	*\_ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		根本 晃成(3)	
I部シングルス		1回戦敗退		蛭田 貴之(2	
Ⅱ部シングルス Ⅱ部ダブルス	、小堺 愛紬(1C) 小堺 愛紬(1C)	1回戦敗退	"	澤田 玲悟(2) 松崎 冬弥(3)	
II 1107 7 700 7	井上 舞 (1I)	2回戦敗退		岡崎 貴啓(3)	
<b> 卓球(男子)</b> 少年男子			U18女子ダブルス	篠原なつみ (2) 蛭田 愛未 (3)	
団体戦		第3位	◎第4回福島県7~		
シングルス	谷本 純一 (1E)	ベスト16		5-L 0 5 5 10 7	予選リーグ敗退
成年男子 シングルス	木田 貴文 (5C)		<ul><li><b>○全日本卓球選手</b></li><li>男子ジュニアシン:</li></ul>		<b>選</b> 純一(1E) ベスト16
		ント1回戦敗退	男子シングルス	安齋 正樹(4	K) 第5位
<b> 卓球(女子)</b> 少年女子			男子ダブルス	安齋 正樹(4	
ダ年女士 シングルス	高橋 百花(2I)	第8位	//	矢内 智大(4) 木田 貴文(5)	
″	猪狩 栞菜 (3I)	ベスト16		佐藤 瑞樹 (5	
<i>"</i> 成年女子	佐藤 泉(3I)	ベスト16	"	加藤 翔 (2) 谷本 純一 (1)	
シングス	齋藤佳菜子 (5I)	第1位	女子ジュニアシングルス	岡部あゆみ(1	I) ベスト16
<b>水泳(男子)</b> 50m背泳ぎ	生方 歩高(4M)	第1位		高橋 百花(2)小林 千莉(2)	
	'吉田 拓実(1M)	第2位	女子シングルス		
400mメドレーリ		第1位		岡部あゆみ (1	
<b> バドミントン(</b> シングルス	( <b>男子)</b> - 川音 - 裕也(1M)	2回戦敗退		佐藤 泉(3 岡部あゆみ(1	
ダブルス	金澤 樹生 (3E)		"	猪狩 栞菜 (3	I)
等60回車小学生	川音 裕也 (1M) <b>陸上競技対校選手権大会</b>	2回戦敗退		高橋 百花(2 矢内 智大(4)	
	: バーシアード競技大会日			猪狩 栞菜(3	
男子200m	古和口 廉 (4K)	第2位		木田 貴文 (5	
男子400m 男子400m H	古和口 廉 (4K) 神部 光 (5K) 第 1	第2位 位(全国大会出場)		高橋 百花(2	I) ベスト32
		各種大会	等の結里 ニュ		
写真部		II IE/\A	<b>☆ ▽ ノルロスト</b> ■ソフトウェア研究	究部	
ひたち国際大道		実施	第62回NHK杯全国	高等学校放送=	
	「子園合同練習会撮影 〔ワークショップ	実施 参加	福島県大会いわる	き支部アナウン 山田 果歩(3	
同校生円() 手具 小名浜花火大会		実施	■サイクリング部	田田 未少 (3)	() / 送奴赵
	ルズ甲子園撮影会	実施		ンライド・サイ	クリングフェスタ 参加
	述地区高専文化発表会 学校写真連盟講演会及び	参加 議 議 議 議 議 議 議	■ <b>分子生物愛好会</b> 第27回知能ロボ・	ットコンテスト	2015
	ーセンター撮影会	実施	チーム1 チー		
吹奏楽部	表 第一、 クール	入份	ロボ・ チームメンバー	ット名 スプリ	ング
第55四個局景吹   <b>茶華道部</b>	(奏楽コンクール	金賞		、金成 留佳	(20)、工藤みらい (20)
いわき学校茶道	連盟第38回合同発表会	参加		チャレンジャ	ーズコース 1 次予選敗退
第40回関東信越 <b>将棋部</b>	地区高専文化発表会	参加		ム名 堀越くま ット名 メカか	
第51回全国高等	学校将棋選手権大会福島	県大会	チームメンバー		
個人戦	野村 賢史 (2C)		鈴木 萌花 (3C)		(3C)、鈴木 琴乃 (1C)
"	状勝トーテメ 松山 拓矢 (2C)	ント1回戦敗退 予選敗退		テャレン	ジャーズコース決勝7位 あすなろ会長賞受賞
演劇部			■ストリートダン		
	学校演劇連盟発表会 述地区高専文化発表会	参加 参加	DANCE@LIVE東北均 第40回関東信越均		参加 表会 参加
無線通信部			71. ** [LIN / N   LIN / N   N   N   N   N   N   N   N   N		·· >//II
第40回関東信越	述地区高専文化発表会	参加			

#### 部クラブ活動紹介 演 劇



# 演劇部紹介

### 演劇部顧問石原万里

福島高専演劇部は、愛好会からスタートし、5年前に部に昇格し、4年前からいわき地区高校演劇連 盟に加入して活動しています。

愛好会時代は、図書館棟の大ゼミで活動し、年に1回の磐陽祭で公演をするのがやっとでした。その 後、新入生歓迎公演、卒業公演と、年に2回の自主公演も始めました。細々とした活動でしたが、公演 に足を運んでくれるファンもできました。また、関東信越文化部発表会にも数回参加しました。

4年前にいわき地区の高校演劇連盟に参加してから、活動は大きく変わりました。いわき市文化交流 館アリオスの舞台(中劇場、または小劇場)で芝居ができると、当時の演劇部員は大喜びでした。舞台、 照明、音響の専門家がいるアリオスの公演は、他の高校生との競演もあり刺激的です。高校演劇では、 春の公演、秋のコンクールと二回の公演があります。学内では、長くて30分の作品上演でしたが、高校 演劇では1時間の作品を作り上げなくてはなりません。参加した当初は、1時間の芝居が出来るとは思 えませんでした。今では、1時間の芝居を軽々とこなす学生がまぶしく見えます。現在は、視聴覚室で 通常は週三回、公演前は毎日稽古を重ねています。1年生は、春の公演を経て、福島高専の演劇部員と して一人前になっていきます。

高校演劇コンクールでは、昨年度は優秀賞第三席、一昨年度は優秀賞第二席と、惜しくも県大会出場 を逃しました。コメディ、ファンタジーを得意としている福島高専演劇部ですが、今年のコンクールは、 演劇部員による執筆作品で挑戦します。ファンタジーの中に、シリアスな要素も混じっている、高校生 が主役の作品です。練習の成果を十分に発揮した舞台になるよう祈っています。

磐陽祭での公演も、新入生歓迎公演、卒業公演も続けていきます。一度、観に来ていただければ幸い です。

### 部 クラブ活動紹介











# 「かけがえのない」は「弓道」の言葉です!

弓道部顧問 符 井

皆さんは、「かけがえのない」という言葉を聞くと、何を考えますか。私は、「弓道」です。「かけが えのない」とは、無くなったら代わりとなるものがない、この上なく大切な、という意味ですが、実は この言葉は、弓道に由来します。弓を引く際に用いる皮製の手袋を「かけ」といい、弓道では弓以上に 大切なものとされているからです。

さて弓道部は、弓道愛好会として5年間活動の後、部にして頂き3年目を迎えました。部員は、専攻 科生も含め40名です。愛好会時代から、高体連に所属し大会に出場してきました。まだ団体戦での入賞 はありませんが、新人戦も含め県大会の個人戦では、これまで監督推薦で出場した男子5名と女子1名 が予選を通過し、準決勝進出を果たしています。

最新の新人戦地区大会の個人戦では、女子1名が初めて10位に入賞し、予選通過で新人戦の県大会個 人戦の出場権を勝ち取る快挙を挙げました。試合を観ていると、弓道の勝負は技術だけでなく、最後は 心の強さで決まる「自分との戦い」であるといつも思います。

日頃の練習は、本校に道場がないので外部でしています。練習場は、上荒川公園の総合体育館南の「い わき市弓道場」です。この弓道場で「平弓道会」に入り、弓具を控室に置かせてもらっているので、弓 を担いで運ぶ必要はありません。ご指導頂いているのは、高段者の方々です。特命教授の元木先生(男 性・教士六段)と小谷先生(女性・錬士五段)から、懇切丁寧なご指導を受けています。

秋の磐陽祭では毎年、本物の弓矢と的を使って、「的当て」を行っています。当たるようでなかなか 当たらないのが、かえって魅力のようで、毎回300名を超えるお客さんが訪ねて下さり、盛況となって います。これを読み、弓道に興味を抱いた学生さんは、放課後に弓道場へ足を運んで下さい。きっと、 弓道が「かけがえのない」ものになります。よろしくお願いします。

# トビタテ!留学JAPAN報告

コミュニケーション情報学科3年 班目 **実**香

私は、官民協働海外留学制度 トビタテ! 留学JAPANの高校生コース第1期生と して8月から約1か月間オーストラリアタウンズビルへ留学をしました。このコー スは今年から新しく設立され、派遣留学生は、授業料や現地活動費、渡航費など の奨学金を受け取ることができます。今回はジェームズクック大学に通い、英語 のエッセイやプレゼンテーションを作成しました。学校内では各国からの留学生 とも交流を深めることができました。また、ホームステイを通して、日本とは違っ たオーストラリアの文化や食文化などを経験することができました。休日はホス トファミリーと出かけ、さらに親睦を深めることができました。この留学を通して、 自分自身を成長させることができました。この貴重な経験は、今後の人生におい て重要なものになると思います。しっかりとこの経験を生かしていきたいです。







# トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム「地域人材コース」事業採択

福島浜通りグローカル人材育成事業推進協議会(会長=中村隆行福島高専校長)が、「地域の活性化に貢献し、地 域に定着するグローバル人材」の育成を目的として実施する「トビタテ!福島浜通り再生ストーリーの主役たち」が、 文部科学省の官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」「地域人材コース」の採 択事業に選ばれました。

事業採択を受け、福島浜通りグローカル人材育成事業推進協議会では、①「原子力分野、環境問題分野、再生可 能エネルギー分野のスペシャリスト」の育成、②「地域活性化の担い手」の育成という2つの柱を立て、「地域企業 等でのインターンシップ+海外研修」プログラムを提供し、将来、浜通り地域で活躍する学生を育成します。 \*詳細は、福島浜通りグローカル人材育成事業推進協議会のホームページをご覧下さい。http://tobitateiwaki.com/

福島浜通りグローカル人材育成事業推進協議会は、地域の経済界、高等教育機関、行政機関等が連携し、学生に 対して海外留学と地域企業でのインターンシップの機会を提供することで「地域の活性化に貢献し、地域に定着 する意欲のあるグローカル人材の育成を長期的に展開し、多様な経験と視点を身に付けた地域を愛する人材のネッ -ク構築 | を目的に平成27年4月28日に設立しました。



採択通知書授与式:平成27年7月30日 (いわき市役所)



# **TOPICS**

# 中国撫順職業訓練学院との協力意向書について

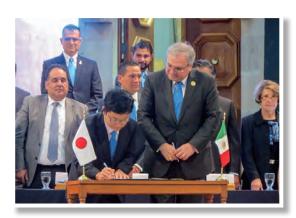
いわき市の姉妹都市である中国撫順にあ る撫順職業訓練学院との学術交流協定締結 に向けて、その前段階となる協力意向書を 取り交わしました。福島高専のグローバル 化、国際交流の促進のためには、アジアとの、 そして振興著しい中国との交流は今後重要 となってくると思われます。今後、交流が 進む事を期待しています。





# グアナファト大学(メキシコ) との学術交流協定締結

メキシコのグアナファト大学では、付属校であるグアナファト高校、サラマンカ高校と連携して、メキシコ初とな るメキシコ版高専を立ち上げることとなりました。このたび、長岡技術科学大学、長岡高専、小山高専、茨城高専 とともに、8月12日に行われたメキシコ高専開校式に招待され、セレモニーの中で、本校中村校長がグアナファト



大学学長とともに学術交流協定書にサインをし、協定を締結 しました。この地域には、日系企業も進出しており、メキシ コ高専では、メカトロコースと、物質材料コースを作り、専 門知識と日本式ものづくり、日本語、日本文化を学ぶとのこ とです。日本に行きたいと語る第一期生の目がきらきらして いたのが印象的でした。

その後、9月18日には、グアナファト大学と付属高校の 関係者が本校を訪れ、ストリートダンスサークルの歓迎を受 けた後、学生との交流をもち、ロボット技術研究会、物理科、 物質工学科の視察をしました。

メキシコからの留学生を受け入れ、本校学生がメキシコに 留学できるように、これから交流を深めていきます。

# 最後に掴んだ勝利

建設環境工学科5年 神部 光

私は中学時代から陸上競技をしていましたが、目標の全国大会までいつも後一歩のところで届きませんでした。高 専3年生時にもインターハイを目指して努力しましたが、ほんのわずかの差で全国への切符を逃しました。4年生 からは大学生と同じインカレの舞台を目指すことになりますが、東北大会で優勝しなければ出場することが出来ま せん。それは決して簡単なことではありませんでしたが、目標達成のため一心不乱に努力しました。

そして、5年生になって迎えた最後の東北大会。大幅に自己ベストを更新して優勝することが出来ました。努力 は報われるということを、身を持って経験する事ができ達成感で溢れました。しかし自分ひとりではここまで来る ことは出来ませんでした。先生やチームメイト、家族たちに支えられて今の自分があります。本当に感謝してもし きれません。今まで受けたたくさんの恩を今回のインカレ出場という結果で少しでも返すことができ、大変嬉しく 思いました。







# 国際交流室の活動紹介

国際交流室長 石原 万里

国際交流室は、外国人留学生の受け入れ、福島高専の学生の海外派遣、海外の高等教育機関との学術教育連携協 定の締結、学生、教職員の英語力向上への取り組みを主な業務としています。

国費留学生としてこの4月に、3年電気工学科にラオス出身のヌイさん、3年物質工学科にインドネシア出身の ウルファさんを受け入れました。現在、4年物質のユーゲックさん、5年物質のソフィさんとあわせて4名の学生 が在籍しています。また、4月から3ヶ月間、フランスのIUTから5名のフランス人留学生も受け入れました。国際 交流室では、留学生と日本人学生の交流の場をもうけようと、留学生の歓迎会を開催したり、International Caféと して、留学生に母国の紹介をしてもらったりしました。留学生は、本校のグローバル化にとって大切な存在で、彼 らが居てくれる事で、日本人学生の英語学習へのモチベーションや海外志向が高まってきているのを感じています。

海外派遣の学生の数もここ数年で増加しています。今年は、トビタテ!留学JAPAN高校生コースに7名の本科生が 合格し、オーストラリア・タウンズヴィルで5週間の研修を行いました。また、専攻科生10名がフランスで、3名 がオーストラリアで、インターンシップを実施しています。

オーストラリアのジェイムズクック大学、フランスのリールに加えて、メキシコのグアナファト大学とも学術教 育連携協定を締結しました。今後の交流に期待しています。

英語力向上への取り組みとしては、昨年度のNOVAとの恊働によるTV電話によるオンラインでの英語学習を今 年度後期から再開いたしました。今年度は新たに、教員向け、職員向けの英語講座も開催しています。





# ビジネスコミュニケーション学科の設置について

平成6年にコミュニケーション情報学科が設立されてから、今年でちょうど20年が経過しました。この間、コミュ ニケーション情報学科は、時代のニーズに合わせて常に教育課程を刷新し、福島県とその近隣において「コミ科」

と呼ばれて親しまれ、地域に根差した高等教育機関として広 く認知されてきました。しかし、昨今の社会環境の変化と学 生のニーズの変化に対応するには、カリキュラムの刷新にと どまらない改革が必要となっています。

平成23年の震災に伴う福島第一原発事故から4年が経過 し、世界が注目する浜通りの再生を目指して、福島・国際研 究産業都市(イノベーション・コースト)構想が具体化しよ うとしています。このような中で、地域の高等教育機関とし ての福島高専には、復興と、その先に続く持続可能な発展を 見据えた地域貢献を行うことが求められています。こうした 一連の変化の中で、学生の進路は益々多様化し、学生が本校 の教育に求めるものも多様化してきています。

このような時代と学生の要望に応えるため、本年7月に文 部科学省の認可を受け、平成28年4月からビジネスコミュニ ケーション学科を設置することとなりました。



# **TOPICS**

# 地域貢献事業について

### ◆「平成27年度第6回中学生英語スピーチコンテスト」開催される

去る7月26日(日)に本校開放事業第6回中学生英語スピーチコンテストが本校の会議室を会場に開催されまし た。今年は市内の4中学校から6名が参加して実施されました。題は自由で、5分以内のスピーチで競い合いました。 スピーチの内容がかなりレベルが高く、原稿作成の段階で相当の努力がなされたものと推測されました。またそれを 多くの人の前で説得力を持って発表できるようにするために、かなり練習を積んできているようでした。出来栄えは、 発音の正確さ・明瞭性、パフォーマンスなどに個人的に多少差はありましたが、どの参加者も一つの事をやり遂げ たという達成感を強く感じているようでした。閉会式の後、一緒に写真を撮ったりして、交流を深めていました。





# ◆出前授業

本校が取り組んでいる地域貢献事業の内、「出前授業」について紹介させていただきます。

写真①は7月31日に郷ヶ丘小学校学童教室で行われた「ウィンドカーを作ろう」の授業風景です。対象は1年生 から4年生でした。夏休みにもかかわらず約80名が参加しました。小出先生の巧みな指導で参加者は制作を楽しん でいました。後日、小学生が作成した感謝状が小出先生に届けられました。

写真②は9月30日に柳津中学校で行われた「キャリアを設計する」の授業風景です。この授業は中学3年生を対象 としたもので、これからの進路を考える上での方法を紹介しました。予想以上に参加者が真剣に取り組んでいました。 こちらも後日、お礼の手紙が届きしました。

出前授業の依頼は近年多くなっています。福島高専の役割としての地域貢献が認識された結果と思われます。出 前授業で福島高専に興味を持ち入学する学生が増えることを願いつつ事業に取り組んで行きたいと思います。



写真① 郷ヶ丘小学校



写真② 柳津中学校



# 新任教職員紹介



### 建設環境工学科 金 高義

金高義と申します。日本で生まれ育った在日韓国人三世です。アラスカや南極へ行ったり するうちに縁あって今年4月に建設環境工学科に着任いたしました。

好きな旅行先はと聞かれれば、まずエンセナダ(メキシコ)、次にアラスカ(アメリカ)と言いたいですが、やはり北海道(日本)。好きな食べ物はと聞かれれば、まず寿司(日本)、次にサンギョプサル(韓国)と言いたいですが、やはり焼肉(日本風の)。海外には素晴らしい物が多くありますが、日本にもよい物はたくさんあります。工学技術については特にそう思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



### 建設環境工学科加村晃良

今年4月1日付で建設環境工学科に着任しました加村晃良です。私は、いわき市の出身で本校の卒業生です。大学で学んだのち、民間企業に8年間勤め、本校へ戻ってまいりました。 これまでは土木技術者として、構造物の設計、積算、工事監理などに従事してきました。

これらの経験により、学校生活、大学編入、就職と幅広く学生皆さんの相談にのれるかと 思います。もし、学校生活や進路選択で不安や悩みがあるときは、遠慮せず私の研究室のド アをたたいてください。次代を担う皆さんの力になることができれば本望です。



### 一般教科 白 坂 繁

1年間の人事交流で鹿児島高専からまいりました数学科白坂繁(しげし)です。1教員として東北の未来の一助になればと思っています。

現在東北の魅力を吸収しています。春は「やわらかに柳あをめる北上の岸辺目に見ゆ泣けとごとくに」(石川啄木)の柔らかな緑が新鮮でした。夏は「閑さや岩にしみ入る蝉の声」(松尾芭蕉)の染み入る感じが体感できました。そして現在は「馬追虫のひげのそよろに来る秋はまなこ閉ぢて想いみるべし」(長塚節)のそよろな変化を楽しんでいます。よろしくお願いします。



### 学生課学生支援係 永 山 遥 水

本年4月1日付で福島高専に採用となりました永山遥水(はるな)です。中通りの天栄村というところが出身です。3月までは宮城教育大学で教育(専門は体育)について学んでおり、大学卒業後福島高専に参りました。まだ社会人として不慣れで、わからないことばかりの毎日ですが、学生さんと交わす挨拶や何気ない会話の中でいつも励まされています。

学生支援係として、学生の皆さんにとって身近な存在になれればと思っています。皆さん の学校生活がより充実したものになるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたしま す。

# 教員交流の先生方紹介

この4月から教員交流を終えて、お二人の先生が福島高専に戻ってこられました。お一人は、 羽切正英先生で、小山高専物質工学科での1年間の人事交流の後、本校物質工学科にお戻りにな りました。もうお一人は、豊島晋先生で、明石高専電気情報工学科での二年間の人事交流を経て、 本校電気工学科へ復帰されております。さらに、大分高専からは、工藤康紀先生がご退職後、物 理科をサポートすべく福島高専にやってこられました。













# 平成27年度 ミニ研発表会

### 教務主事補 濱 﨑 真 一

今年度で10回目となるミニ研究発表会が、9月28日(月)、本校第一体育館を会場として開催されました。このミニ研究は、本校2年生を対象に平成18年に導入され、本年で10年切れ目なく継続開催された企画で、授業目的「教員の設定したテーマに基づいて研究し、低学年のうちに自分で調べる・考える・文章にまとめる・報告する・人前で発表するという過程を経験し、個々の能力を高める」は当初より一貫して変わらず、また、学生は自分の所属する学科にとらわれずに、自身の興味や問題意識に基づいてテーマを選択して半年の研究に取り組ませることも一貫して行ってきました。これにより大学では4年生で触れられる研究を、本校では早期に2年生(高校2年生の年齢)の段階から体験でき、さらに自身の所属学科のみならず他学科の専門分野を研究テーマとして選択することも可能なことから、視野の広い、柔軟な発想を持つ人材の育成が期待できる本校の特色ある催しとなっています。また、所属する学科以外の学生との共同作業、指導教員等との研究内容の話し合い、発表などを通し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上も期待しています。

この取り組みは、最近では他高専からも評価されており、本校を参考に、新たに同様の取り組みを実施しようとする高専もあると聞き及んでいます。

今年度は、44のミニ研テーマで募集を行い、学生はそれぞれのミニ研テーマに分かれて一生懸命に取り組みました。その姿勢は、時間を延長して放課後まで取り組む状況や、夏休み期間中に登校して取り組む状況からうかがえました。

研究成果を披露するミニ研発表会では、多くの来場者にお越しいただき、盛況のうちに終了しました。発表は前半と後半の2つに分け、発表時間を各80分間としていることから、1回の発表は15分程度を目安としていますが、各テーマにおいて本校教員だけの聴講でも平均7人(多い場合は19人)の聴講を受けており、学生は限られた時間内で自分の研究成果を積極的に議論していました。2年生は、各学科において本格的な専門の実験・実習教育に入りだした学年でありますが、今回の研究成果と発表会状況から、このミニ研究の目標である自ら「考え」、「調べ」、「まとめる」ということの重要性に真剣に向き合えたのではないかと思います。この経験を糧にして、今後の実験・演習、卒業研究など、専門教育に真摯に取り組むことを2年生には期待したく思います。

本年度も、ミニ研究発表会には1年生にも参加していただきました。来年度に発表を控える彼らにとっても、2年生の発表内容等をみて参考になるだけではなく、来年の自分に向けて奮起した者も多々いたのではないでしょうか。来年度は、2年生の発表を見るだけではなく、さらに1年生が関われる企画に変えたいと考えています。また、聴講に来ていた1年生の眼差しをみて、次年度も十分な成果と積極的なミニ研発表会になるではと確信しております。

発表会には、平日の開催にもかかわらず多くの保護者の皆様にご来場いただき、聴講していただきました。また、多くの教職員の方々にも聴講と評価に参加していただきました。



何より、根気強く熱心にご 指導いただきましたミニ研究 担当の先生方のお力添えによ り、無事に発表会まで終了す ることができました。ミニ研 を支えていただきました皆様 に感謝申し上げます。



# 平成27年度 校内体育

### 学生主事補 木次谷 聡

平成27年9月30日、福島高専校内体育大会が行われました。今年度も爽や かな秋晴れの下で盛大に開催することができました。競技にはサッカー、バ スケットボール、ソフトボールなどの球技系だけでなく、大縄跳び、障害物 競争、リレーなどの種目も含まれ全部で8種目行いました。どの競技も経験 者や女子に対するハンディキャップや特別ルールを適用することで、誰でも 競技を楽しめるように工夫されていました。大会最後には、本年度初めて行 われる学年対抗リレーが行われ、全学生がグラウンドに集結し大いに盛り上 がりました。各種目の成績順位に応じて得点を加算したところ、学年別対抗 では1年生は電気工学科、2年生は機械工学科、3年生は建設環境工学科、 4年生は機械工学科、5年生は建設環境工学が優勝し、学科対抗では建設環 境工学科が総合優勝しました。

本大会の企画運営は、学生会の体育大会実行委員会(委員長:4年建設環 境工学科 井戸川将大君)と各クラスの体育委員が中心となり、学業やクラ ブ活動の合間をみて早い時期から準備を進めてきました。閉会式では「無事 に開催できたことに対し学生のみなさんに感謝しています。運営上の細かい 反省点は来年度にしっかり引き継ぎ、改善したいと思います。」との委員長 挨拶がありました。



# 平成27年度 行 事 予 定(後期)

6日(金) 磐陽祭準備 前夜祭 11月

7日(土)磐陽祭

14日(土)~15日(日)

全国高専デザインコンペティション2015 in紀の国わかやま

(和歌山高専主催/和歌山県民文化会館)

16日(月)~12月1日(火) 後期中間試験期間

22日(日)全国高専ロボットコンテスト2015

(両国国技館)

2日(水)学生会役員選挙 12月

5日(土) 専攻科社会人入試

23日(水)冬季休業開始(1月11日(月)まで) 閉寮(10:00)

26日(土)学校閉鎖期間(1月3日(日)まで)

2016年

1月

4日(月)~9日(土)ラグビー全国大会(神戸市)

11日(月)開寮(13:00)

12日 (火) 授業開始

13日(水) 専攻科特別研究中間発表会(1年)

14日(木)学習到達度試験(工学系4学科3年生対象) 基礎学力標準試験(数学)(工学系4学 科の1、2年生対象) 他学生は臨時休業

16日(土)推薦入試

23日(土)~24日(日) 1月

全国高専英語プレゼンテーションコンテスト (国立オリンピック記念青少年総合センター)

27日(水) 専攻科特別研究最終発表会(2年)

30日(土)卒業研究発表会(電気)

2月

3日(水)学生総会

9日(火)~16日(火) 後期期末試験

21日(日)学力入試

22日(月)学生臨時休業

24日(水)後期授業最終日 月曜振替授業

25日(木)~3月1日(火) 補講期間

26日(金)卒業研究発表会(機械)

29日(月)卒業研究発表会(物質)(建設)(コミ)

3月

1日 (火) 卒業研究発表会 (物質) (コミ)

2日(水)寮送別会

3日(木)終業式

8日(火)地域フォーラム 専攻科特別研究公開発表会(2年)

18日(金)卒業証書授与式・修了証書授与式(いわ き芸術文化交流館アリオス)

19日(土)閉寮(10:00)

### 試 験の

### 【本 科】

●推薦による選抜

•推薦入学願書受付 1月5日(火)~7日(木)

•推薦入試 1月16日(十)

•合格内定通知発送 1月21日(木)

●学力検査による選抜

•願書受付 2月1日(月)~5日(金)

•学力入試 2月21日(日) •合格発表 2月26日(金) 【専攻科】

●社会人特別選抜

•願書受付 11月24日(火)~27日(金)

・学力検査と面接 12月5日(土) •合格発表 12月10日(木)

### 教務委員会からのお知らせ ケータイ連絡網「グルリン」への登録について

本校では、震災の発生、公共交通機関の予期せぬ事故、天候不良による交通網の麻痺等、緊急に学生に対応を周知する際 に、学生及び保護者の皆様との 連絡手段を確保するために、緊急メール送信システム体制を整備しております。

ついては、本趣旨をご理解いただき、まだご登録されていない保護者の方は、是非「緊急メール送信網」へ登録してくださ るようご協力願います。登録方法につきましては、登録用紙を配付しますので、学生課教務係までご連絡ください。 福島工業高等専門学校学生課教務係 TEL 0246-46-0732 E-mail kyoumu@fukushima-nct.ac.jp

#### 集 後 記

学生がレポートと試験勉強に追われるように、教員も授業と会議と原稿締め切りに追われる毎日が続いて います。良いものは作りたいけれど、締切がある。その中で、どの時点で妥協するかがいつでも大きな問題 です。仕事の進め方、時間の有効利用の仕方を常に考え、建設的に生きようと思いつつ、その一方で、ふっ と息を抜いて、ゆったり過ごす時間も欲しい。そんな毎日の中で出来あがった「学校だより99号」です。忙 しい中、原稿を寄せてくださった皆様ありがとうございました。学生達がどんな活動を行っているのかをお 伝えできれば、嬉しいです。 広報委員長 石原万里

